

皇帝ノ特權ト委任トニ依リ又ハ制法ト往古ヨ
 リノ習慣トニ依テ委任セラレタルモノニシテ
 敢テ其他ノ方法ヲ以テ委任セラレタルモノニ
 アラサルニ依リ苟クモ之ヲ減殺スルニハ亦此
 等ノ方法ヲ以テスルニアラサレハ得テ之ヲ動
 カス可キモノニアラス若シ果シテ皇帝ノ委任
 特權等ニ依リ若クハ制法ヲ以テ其裁判權ノ委
 任ヲ受ケタル時ハ「キニクス、ベン」テ廳ニ於テハ
 仮令海上裁判所ニ於テ其權カヲ妄用スル時ハ
 其權内ニ屬スル至當ノ裁判權ト雖モ之ヲ行フ
 ヲ禁スルヲ得ルモ該裁判所ヨリ其裁判權即チ
 之ヲ詳言スレハ訴訟ノ裁判ヲ為スノ權利ヲ收
 奪スルヲ得可キモノニアラス故ニ海上裁判所

ニ於テ其權利アルト否トハ全ク其裁判權ヲ允
 許セシモノ、解釋ノ如何ニ依ルモノニシテ仮
 令如何ナル訴訟ニ付何様屢々「キニクス、ベン」テ
 廳ヨリ禁令狀ヲ發出セシ「ア」リト雖モ毫モ之
 レニ關スルモノニアラス又「キニクス、ベン」テ廳
 ニ於テハ議事院ニ於テ決議セシモノト又ハ皇
 帝ノ特權ヲ以テ制定セシモノト問ハス國家
 ノ法律ヲ合法ニ施行スルヲ得可キ立法權ヲ有
 スルモノニアラス又ハ行政權ヲモ有スルモノ
 ニアラサルナリ
 又若シ米國革命ノ時ニ當リ未タ合衆國ノ憲法
 ヲ制定セサル以前ニ在テ「キニクス、ベン」テ廳ニ
 於テ其權内ニ屬セシ場所中ニ海上裁判所ノ裁

判権ヲ大ニ減殺セシ規則ヲ行ハント欲セシニ
於テハ蓋シ航海者ノ給料、鈔印ノ契約(即チ船書
入質ノ契約及ヒ船賃賃入ノ契約)ヨリ其他海上
或ハ地方内又ハ本國ノ港中ニ於テ署名シタル
契約等ニ関スル訴訟ニ付常ニ禁令状ヲ發出シ
テ英國海上裁判所ノ裁判権ヲ全ク廢絶シ尚ホ
之ヲ廢絶スルモ未タ満足セスシテ終ニハ世界
中ノ海上航海上ノ裁判権内ニ屬スル總テノ訴
訟ヲ廢絶シテ我カ憲法中ニ掲ケタル彼ノ言詞
ノ如キモ一モ其効用ナク又ハ其意義ヲモアラ
スシテ全ク贅物ニ屬スルニ至リタル可シ然レ
モ當時「キンクスベシケ」廳ニ於テハ他國ノ立法
政度ニ関スルノ権力ヲ有セザリシノミナラス

尚ホ且今日ニ在テモ亦之ヲ有スルモノニアラ
ス又ハ彼ノロルトユーク氏ノ時代ニ在テモ尚
ホ一モ斯ル権力ヲ有セザリキ然ラハ則チ該廳
ニ於テ海上航海上ノ裁判権内ニ屬スル總テノ
訴訟ヲ廢絶シ能ハザリシニ於テハ他ニ果シテ
如何ナル方法ヲ以テ之ヲ廢絶スルヲ得タル可
キヤ

第八章 蘇格蘭及ヒ愛爾蘭等ノ海上
裁判権ノ事

大英帝國中ノ他ノ場所ニ於ケル海上航海上ノ
裁判権ハ帝國ノ孤嶋タルニ過キサルモ尚ホ英
吉利ノ海上々等裁判所ノ裁判権ノ如キ狹隘ナ
ルモノニアラス蘇格蘭及ヒ米國ニ於ケル殖民

地等ニ在テハ海上裁判所ノ裁判權ハ最モ廣大ニシテ且最モ貴重ナルモノトセリ

蘇格蘭

蘇格蘭ニ於テハ未ダ他國ニ模倣シテ水師提督ヲ設ケサル以前ニ在テハ税関長ヲ以テ航海者間ノ海上判事トシテ航海者ト商人トノ間ニ於ケル民事上ノ訴訟ハ總テ其權内ニ屬シ又其刑事上ノ訴訟ニ於テハ上等判事ヲ以テ其判事ニ充テシカ今ヤ(紀元後千六百八十二年ヲ以テ)此等ノ訴訟ハ總テ斯ル人々ノ權内ヲ脱シテ水師提督ノ權内ニ屬セリ故ニ水師提督ヨリ命スル判事代負、委負官等ハ之ヲ稱シテ水師提督ノ判事ト云フモノニシテ苟クモ此等ノ者ヲ除クノ

外ハ何人ヲモ右訴訟ニ列坐シテ審問裁決ヲ為シ能ハサルモノトシ尚ホ且海上海岸ニ於テ若クハ海上ヲ經テ為シタル總テノ契約、犯罪、負債計、算、雇船ノ契約其他ノ鈐印約又ハ船舶ノ船積船賃、雇入海上ニ於テ不慮ノ災害ニ罹リタル為メ借入レタル貨幣等ニ関スル契約及ヒ其他航海者間ニ起リタル條件等ニ関スル訴訟ヨリ他ノ判事ノ令狀ヲ以テ移シ或ハ其言渡ニ對シテ控訴スル訴訟及ヒ巡捕狀ニ関スル訴訟等ニ於テモ亦然リトス其他最モ廣大ナル司法警察ノ權ト刑事上ノ裁判權ヲモ有スルモノナリ又蘇格蘭ニ於テハ航海上ニ関セサル為替券及ヒ其他ノ商業上ノ條件ニ関スル訴訟ノ裁判權

其他本國ヲ去ラントスルノ恐レアル負債者ヲ
押留シテ之ヲシテ其負債ヲ弁償ス可キ担保ヲ
提供セシムルノ權等ヲモ海上裁判所ニ於テ之
ヲ有セリ

該國ノ水師提督ハ海上及ヒ港江海岸等ノ判事
總長ニシテ總テ航海ヲ為シ得可キ河川ノ海上
ノ第一ノ橋下及ヒ其他潮水ノ流入スル場所内
ニ於テハ外國人ニ関スルモノト内國人ニ関ス
ルモノトヲ問ハス苟クモ航海上ニ関スル本國
内ノ民事事上ノ訴訟ハ總テ其裁判權ヲ有スル
モノトス故ニ該國ノ海上裁判所ニ於テハ民事
事上ノ兩裁判權ヲ有スルモノニシテ民事事上ニ
於テハ水師提督ハ始審判事トシテ雇船ノ契約

船賃、救難料、破船、船書入貨、保除ノ契約等ニ関ス
ル訴訟及ヒ其他船舶ノ船積或ハ水師提督ノ管
轄地内ニ於テ遂行スル所行ニ関スル訴訟等ノ
航海上ニ関スル總テノ訴訟ノ裁判權ヲ有シ又
ハ甲港ヨリ乙港ニ至ル迄海上ヲ運送スル物品
ノ收回若クハ其價額ニ関スル訴訟ヲモ總テ其
裁判權ヲ有シ又刑事事上ニ於テハ船中ニ於テ犯
カシタル違反、海賊盜等ノ如キ犯罪ハ全ク其裁
判權ノ特權ヲ有スルモノナリ

愛再蘭

愛再蘭ニ於テモ亦往古ヨリ海上裁判所ノ設ケ
アリテ千七百八十二年ニ至ル迄ハ戦利裁判所
ノ權カモ亦海上裁判所ノ權内ニ属セラルカ彼ノ

聯合條例（三）英國吉利蘇格蘭變角蘭ノト及ヒ千七百
 八十二年ノ法例トニ依テ其裁判權ハ唯々民事
 上ノ航海上ニ関スル訴訟ノミニ限レリ（アラウ
 レ氏羅馬法海上律ノ三十二葉ヲ參觀ス可シ）
 蘇格蘭ノ海上裁判所ニ屬スル現今ノ裁判權ヲ
 論究シテ再々爰ニ之ヲ掲載スルハ敢テ必要ニ
 アラス唯々前既ニ論述セルモノニ附加シ爰ニ
 一言以テ海上裁判所ノ裁判權ハ最モ廣大ナル
 諸種ノ區域ヲ以テ英吉利帝國ノ諸方ニ及ハサ
 ル所ナク然シテ當時ト雖モ尚ホ海上航海上ニ
 屬スル訴訟ハ英國ノ海上裁判所ニ允許セシモ
 ノヨリハ其種類數多アリシヲ示スノミ
 第九章 英國殖民地ノ海上航海上ノ

裁判權ノ事

米國革命ノ時ニ當テハ英吉利蘇格蘭ノ海上航
 海上ノ裁判所ノ外尚ホ英國殖民地ノ海上裁判
 所ノ設ケアリキ
 總テ英國ノ議事院ニ於テ制定セル制法ハ苟ク
 モ明カニ指定セルモノニアラサルヨリハ英國
 憲法ノ條例ニ依テ英國ノ殖民地ニ及ハサルモ
 皇帝ノ委任ニ至テハ英國ノ所領中其効力アラ
 サルノ地ナシ然シテ英國殖民地ノ海上裁判所
 ヲ設ケテ該裁判所ニ於テ元ト其允許セラレシ
 裁判權ヲ數年ノ間保有セシハ全ク皇帝ノ委任
 ニ依テ然ルモノニシテ此等ノ委任狀ハ本國ノ
 海上々等裁判所ヨリ發出セシモノナリ故ニ此

等ノ委任状ハ之ヲ以テ當時ノ其委任ヲ受ケタ
 ル殖民地ニ於ケル裁判所ノ裁判権ヲ証スルニ
 足ルノミナラス尚ホ其委任状ヲ發出セシ本國
 ノ海上々等裁判所ノ裁判権ヲモ徴スルニ足ル
 然シテ此等ノ委任状ハ始終殖民地ノ知事副水
 師提督及ヒ海上裁判所ノ判事等ニ發出セシモ
 ノニシテ其種類四種アリ即チ

第一 内務省ヨリ知事ニ發出セシ知事ノ委
 任状

第二 海上々等裁判所ヨリ知事ニ發出セシ
 副水師提督ノ委任状

第三 海賊防遏ノ條例ニ從テ内務省ヨリ知
 事及ヒ其他殖民地ノ主タル官吏ニ發

出セシ一般ノ委任状

第四 海上々等裁判所ヨリ殖民地ノ海上裁
 判所ノ判事ニ發出セシ委任状

此等委任状ノ多クハ各州ノ内務省ニ於テ之ヲ發見
 スルヲ得可シ然レモ之ヲ見閱スルハ敢テ容易
 ノ事ニアラサルヲ以テ仮令其全文中全ク海上
 裁判所ノ裁判権ニ關係アラサルモノナキニア
 ラスト雖モ其全文ヲ以テ此等委任状ノ各種ノ
 一通ツ、ヲ掲載スルハ敢テ贅事ニアラサル可
 シ然レモ之ヲ掲載スルニ當テハ敢テ歴史上ノ
 順序ニ從フヲ得ヌ其故他ナシ元来新約克州ニ
 於テハ書類ノ整頓不充ナルヨリ此等ノ委任
 状ヲモ其順序ニ從テ保存セサルヲ以テナリ然

シテ知事ノ委任状ナルモ、ハ之ヲ以テ知事タル者ノ其本國ノ海上々等裁判所ヨリ受ケタル委任ニ從テ之レニ海上裁判所ヲ設立ス可キ権カヲ與附セシモノナリ

知事ノ委任状ハ全ク之ヲ以テ殖民地ノ行政長官ニ任スルモノニ係ルカ故ニ其文中殖民地内ノ裁判所ノ構成権カ等ヲ擧ケテ知事ノ特権内ニ屬セシテ之ヲ証明ス可キモノ、外ハ全ク本章ノ論題ニ関セサルモノ多シ故ニ其文中此論題ニ關係アラサル文面ハ之ヲ掲載セス唯々其裁判所ヲ設立ス可キ権カヲ附與セシ條款ヲ爰ニ掲載シテ以テ法律裁判所トハ海上裁判所トハ全ク同一ノ方法ヲ以テ設立セシモノニ係ル

ト及ヒ海上裁判所ノ裁判権ハ廣大ナル権限ヲ以テ允許セシモノニ係ルトテ之ヲ証明ス可シ

知事ノ委任状

爰ニ信實ノ保護者タル英吉利蘇格蘭佛蘭西及ヒ愛爾蘭ノ皇帝第三世ウヰリアム天神ノ恩惠ニ依リ謹ンテ忠實親愛ナルロルトコロシハハリ、イトウアト、ハイド氏は命ス曰ク

内閣執政ノ具申ト兼諾トニ依リ此委任状ヲ以テ足下ニ足下ノ管理スル政府ノ所領内ニ於テ法律ト公理正道トニ從テ民刑事上ノ總テノ訴訟ヲ審問裁決シテ之ヲ執行スル為メ足下ノ必要ナリト思考スル裁判所ヲ構成設立シテ之レニ至当必要ナル権カ職權ヲ數料

特許等ヲ附與シ且之レニ人ヲシテ議事院ノ
 決議ヲ以テ定メタル誓約ヲ為サシム可キ權
 カヲ附與スルノ權及ヒ判事治安裁判官其他
 正理ヲ維持シ法律ヲ執行スル為メ必要ナル
 官吏等ヲ命シ之ヲシテ誠實ニ職務ヲ行ヒ公
 平ニ訴訟ノ理非曲直ヲ判定ス可キ旨ノ誓約
 ヲ為サシムルノ權等ヲ委任ス
 又足下ノ所領内ニ於テ海上ニ屬スル總テノ
 條件ヲ審問裁決スル為メ海上裁判所ヲ構成
 設立シテ之レヲ至当必要ナル權力職權手數
 料、特許等ヲ附與シ且之ヲシテ足下、我カ海
 上裁判所ヨリ鈐印ヲ令狀ヲ以テ若クハ我カ
 水師提督或ハ其他我カ外國殖民地ノ水師提

督ノ官職ヲ代理スル委任官ヨリ受ク可キ委
 任職權告諭等ニ從ヒ足下ノ管理スル政府ノ
 所領ニ屬スル海上海岸ニ於テ副水師提督ニ
 屬スル總テノ權カヲ行ハシムルノ權ヲモ供
 マテ之ヲ足下ニ委任スルモノナリ
 又殖民地ノ知事ヲ副水師提督ニ任セシ委任狀
 ハ其文意明瞭ニシテ一モ得テ誤解ス可キモノ
 ナク然シテ之ヲ以テ曾テ英國海上裁判所ノ最
 モ熱心ナル保護者ノ討求セシ如ク海上裁判所
 ノ廣大ナル裁判權ヲ知事ニ委任セシモノナリ
 即チ左ニ記載スルモノハ殖民地ノ知事タルコ
 ルト、コロンバリ、氏ヲ副水師提督ニ任セシ委
 任狀ナリ然シテ此委任狀ノ原書ハ元來羅典語

ヲ以テ記載セルモノ、係余カストリス氏及
ヒガポニキウ氏等ノ其書中ニ掲載セシ英語ニ
譯セルモノヲ拔萃シテ爰ニ之ヲ掲載スルノミ
（ガニラツプ氏海上法三十五葉ストリス氏殖
民地論百六十六葉及ヒガポニキウ氏陪審法百
五十八葉等ヲ參觀ス可シ）

副水師提督ノ委任狀

米國ノ新約克コン子クテカット及ヒ東西
ニウ、ビルセー等ノ諸州ノ殖民地ノ知事兼
船將タルロルドコンバリー、イトウアー
ト氏ヲ右殖民地ノ副水師提督ニ任スル皇
帝ノ委任狀

爰ニ信実ノ保護者タル英吉利蘇格蘭佛蘭西

及ヒ愛再蘭ノ皇帝第三世ウヰリアム天神ノ
恩惠ニ依リ謹テ我カ米國ノ新約克コン子ッ
チカット及ヒ東西ニウ、ビルセー等ノ諸州ノ
殖民地ノ知事兼船將タル忠実親愛ナルロル
ト、エロニバリー、イトウアート氏ニ命ス
足下ノ忠実謹慎ナルヲ以テ皇帝所好ノ間有
効ニ存ス可キ此委任狀ヲ以テ右殖民地ノ知
事兼船將タル足下ヲ右米國ノ殖民地及ヒ殖
民地ノ海上并ニ其接近ノ場所ノ副水師提督
ニ任シ然シテ足下ニ我カ英吉利ノ海上々等
裁判所ノ法例ト制法トニ從ヒ右殖民地ノ副
水師提督ニ屬スル各種ノ手数料、利益、所得、年
金、役得及ヒ附屬品等ヲ領收ス可キ権カヲ委

任ス

又右殖民地及ヒ其附属ノ地方海上並ニ其接
近ノ場所ニ於テ又ハ此等ノ場所中ノ海上、河
流、海岸、港江、河川、池塘等ニ於テ他ノ羈絆ヲ受
クルトナク左ノ権カト職權トヲ行フ可キト
ヲ足下ニ委任ス

總テ航海上ニ関スル民事ノ訴訟又ハ請願、契
約、犯罪、疑察ノ犯罪、重罪、歎訴、負債、為換券、計業
雇船ノ契約、約定、告訴、侵害、損害、促迫、討求及ヒ
其他商人間若クハ船主ト右殖民地及ヒ其附
属地ノ海上裁判所ノ海上裁判権内ニ属スル
場所内ニ於テ其船ヲ雇入レ或ハ使用シタル
商人或ハ其他ノ者トノ間若クハ其他何人ヲ

問ハス右海上裁判権内ニ属スル場所内ニ於
テ訴訟ノ原由タル條件ヲ遂行シ閑于シ或ハ
約定シタル者ノ間ニ提起スル民事上ノ航海
事務ニ関スル訴訟及ヒ此等訴訟ノ附帯ノ事
件告訴等ヲ受理シテ公理正道ト制法、法律、法
例及ヒ往古ヨリノ習慣等ニ從テ之ヲ審問裁
決スルト

又其他總テ海上ニ於テ約定シ若クハ海上ニ
於テ遂行ス可キ航海上ニ関スル契約、約定、條
件、事務等ノ民事上ノ訴訟又ハ總テ其方法ノ
如何ナルヲ問ハス右殖民地及ヒ其附属ノ地
方海上等ノ海上裁判所ノ海上裁判権内ニ関
シ或ハ属シ或ハ往古ヨリ属セシ條件ニ関ス

ル訴訟又ハ總テ右海上裁判所ノ海上裁判権内ニ屬スル海上、河川、港江等ニ於テ為シ犯シ
 祭生シタル重罪、犯罪、放蕩、侵害、輕罪、疑察ノ輕
 罪、狂害、物品買占ノ犯罪其他航海ニ関スル
 條件ノ訴訟等モ亦之ヲ審問裁決スル
 又公理正道ニ依リ若クハ制法、法律、法例及ヒ
 往古ヨリノ習慣等ニ依リ右殖民地及ヒ其附
 屬ノ地方海上内ニ住居スル不羈獨立ノ合法
 正直ナル人々ヲミテ誓約ヲ為サシメタル上
 搜查マ可キ物件條件等ハ此等ノ人々ヲシテ
 誓約ヲ為サシメタル上之ヲ搜查シ其他海上
 ノ破船又ハ右殖民地及ヒ其附屬ノ地方海上
 等ノ海上裁判所ノ海上裁判権内ニ屬スル場

所内ニ於テ犯シタル謀反、海賊、人殺等ノ犯人
 及ヒ其他ノ重罪人等ノ物件、財品又ハ此等犯
 罪人ノ供給者、從犯者、教唆者、共謀者、助力者等
 ノ物件、財品、負債等モ亦之ヲ搜查スル
 又其他右海上裁判権内ニ屬スル場所内ニ於
 テ死去セル重罪人ノ物件、財品、負債又ハ右殖
 民地及ヒ其附屬ノ地方海上内ニ屬スル海上、
 河流或ハ陸地ニ於テ没收シ或ハ没收ス可キ
 物件、財品、負債等モ亦之ヲ搜查スル
 又其他其犯罪地ノ如何ヲ問ハズ右記載セル
 以外ノ謀反、重罪或ハ人殺等ノ犯人及ヒ此等
 犯罪人ノ供給者、從犯者、教唆者、共謀者、助力者
 其他謀反、重罪、人殺罪及ヒ其他ノ犯罪ノ逃亡

者或ハ其告訴ヲ受テ有罪ト決シ或ハ其罪刑
ヲ免カレタル者等ノ物件、財品、負債又ハ棄物
浮偵投貨、沈貨其他ノ發見セル財品及ヒ其他
棄物トシテ拾收シ若クハ偶然發見セル總テ
ノ物品又ハ海上、港江、海濱、河流、河川、其他海水
ノ出入スル場所ニ於テ若クハ右海上裁判權
内ニ屬スル此等ノ海岸ニ於テ偶然發見セル
此等ノ物品等モ亦之ヲ搜查スル
又其他船舶ノ錨具、輕貨、積貨又ハ公理正道ト
往古ヨリノ習慣トニ依テ皇帝ニ屬スル鯨魚
鯨魚、海豚ドルヒニキツグガランハス」其他肥
大ナル海魚等ノ皇帝ノ魚類等モ亦之ヲ搜查
スルト

又前項ニ記載セル海上ノ破船、物件、財品、負債
及ヒ其他ノ物品等ハ之ヲ保存スル為ノ皇帝
ノ所有物トシテ當時開設ノ大英國海上々等
裁判所ノ官衙ニ徵集領收スルト
又其他右海上裁判所ニ於テ徵集シ賦科シ没
收シタル罰金、過料、被告物件、没收物、償金、贖罪
金、保證金及ヒ謀反、重罪、侵害、苛虐、蔑如及ヒ其
他ノ輕罪ニ付其他右殖民地及ヒ其附屬ノ地
方海上内ニ於テ起リタル條件ニ付テ科シタ
ル罰金又ハ右殖民地及ヒ其附屬ノ地方海上
内ニ於テ足下若クハ足下ノ代負ノ面前ニテ
徵收シ没收シ賦科シ若クハ皇帝及ヒ其相續
人ニ對シ負フタル償金、被告物件、罰金、過料、犯

罪ノ罰金、保証金ノ没收物等モ亦之ヲ徵集領
收スル

又契約、負債或ハ其他ノ條件ニ付足下ノ職権
ニ依リ又ハ原告人ノ求メニ依テ兼認、保証、負
任、約定等ヲ為サシメテ之ヲ執行シ又ハ此等
ノ契約、負債等ニ付或ハ其他此等ニ関シテ右
殖民地及ヒ其附屬ノ地方海上内ニ起リタル
條件ニ付又ハ其他ノ契約、條件、負債等ニシテ
之レニ関スル物品或ハ本人等ノ右裁判権内
ニ屬スル場所内ニ在ルモノニ付テハ航海律
ト右裁判所ニ於ケル往右ヨリノ習慣トニ從
テ船舶、人身、物件、財品、給料及ヒ商品等ヲ差押
ヘ或ハ人ヲシテ差押ヘシムル

又前項ニ記載セル法律習慣及ヒ其他合法ノ
慣例方法等ニ從ヒ足下ノ熟練ト鑑識トヲ以
テ前諸項中ニ記載セル訴訟及ヒ其附帶ノ條
件航海上ニ関スル契約請願等ノ民事上ノ訴
訟等ヲ聽糺シ訊問シ糸論シテ之ヲ裁決スル

又此等ノ訴訟ニ付時宜ニ依リ何人ニ依ラス
之レニ出度ヲ命シテ答弁ヲ為サシメ若シ其
求メニ應セサル時ハ法律ト習慣トニ從テ之
ヲ懲戒シ又ハ其他之レニ罰金過料等ヲ料ス
ル

又此等訴訟ノ裁決ヲ為スニ當テハ專テ事實
ノ有實ニ注意シ法律上ノ正当ノ順序ト手續

トニ從テ正当ノ裁判ヲ為ス
 又公理正道ト制法、法律、法例及ヒ往古ヨリノ
 習慣ニ從ヒ總テ有罪者、海上裁判所ノ法律裁
 判權等、侮慢者、暴行者、違反者、過失者、不当ニ
 職務ヲ放レタル者、船長、航海者、水夫、漁獵者、船
 匠、其他航海ノ事務ニ從事スル職工、施術者等
 ヲ罰シ懲戒シ處刑シ譴責シ感化シ又ハ右殖
 民地及ヒ其附属ノ地方海上内ニ在ル獄舎ニ
 禁錮シ或ハ禁錮セシメ又斯ル際ニ在テ其禁
 錮ニ附セラレタル者ノ之ヲ他ニ引渡ス可キ
 時ハ之ヲ引渡シ又ハ全ク放免シ或ハ放免セ
 シムル
 又右海上裁判權内ニ属スル場所内ノ河川、河

流、港江等ハ右殖民地及ヒ其附属ノ地方海上
 内ノ如何ナル場所ニ在ルモノヲ問ハス我カ
 皇帝ノ海軍及ヒ合衆帝國ト右殖民地トノ軍
 艦船舶并ニ右河川、河流中ニ増殖スル魚類等
 ノ保護ノ為メ之ヲ保存シ又ハ人ヲシテ保存
 セシムル
 又右殖民地及ヒ其附属ノ地方海上内ニ於テ
 公理正道及ヒ法律、制法、法例及ヒ往古ヨリノ
 習慣等ヲ遵守シ又ハ執行遵守セシムル
 又前諸項中ニ記載セル諸件ニ付公理正道ト
 右記載セル法律、制法、法例及ヒ往古ヨリノ習
 慣トニ從テ行フヲ得可キ其他ノ諸件ヲ施行
 シ執行スル

又右殖民地及ヒ其附属ノ地方海上内ノ海上
河流、港江、河川、等ニ於テ使用スル不当ノ細目
ナル漁網及ヒ其他漁獵ノ使用ニ供スル不法
ノ器具器械等ヲ改正スル
又此等ノ違反者ハ法律、制法、法例及ヒ往古ヨ
リノ習慣ニ從テ之ヲ懲罰警戒スル
又總テ罪刑ノ言渡判決等ヲ宣告シ言渡シテ
之ヲ執行シ然シテ之ヲ宣告シ言渡シ執行ス
ルニ當テハ他ノ海上若クハ海上ノ通路若ク
ハ海軍或ハ航海若クハ右記載セル海上裁判
權或ハ海上裁判所ノ權限等ニ関シ又ハ既ニ
行ヒ若クハ行フ可キ條件ニ関スル航海ノ
民事ニ屬スル訴訟ノ裁判權ヲモ有スル

又時宜ニ依テハ職權ヲ以テ若クハ原被告人
ノ求メニ依リ前項ニ記載セル法律、制法、法例
及ヒ往古ヨリノ習慣ニ從テ更ラニ此等ノ訴
訟ヲ審問スルノ權アル

又海上ノ破船、溺死人等ニ関スル裁判權ヲ有
シ又ハ斬殺、溺死、謀殺等ニ罹リタル死人又ハ
右殖民地及ヒ其附属ノ地方海上内ノ總テ海
水ノ流入スル海上、河流、港江、河川其他右海上
裁判權内ニ屬スル場所ニ於テ斬殺、溺死、謀殺
等ニ罹リ若クハ其他ノ方法ニ依テ生命ヲ失
ヒタル者等ノ死体ヲ検査スル
又右海上裁判權内ニ屬スル場所内ノ海水ノ
流入スル此等ノ場所ニ於テ犯シタル創傷罪

モ亦其裁判權ヲ有シ且法律ト徃古ヨリノ習
慣トニ從テ總テ此等ノ犯人ヲ罰スルノ權ア
ル
又前項中ニ記載セル諸件ニ付公理正道上又
ハ法律、制法、法例及ヒ徃古ヨリノ習慣等ニ依
リ施行スルノ必要ナル諸件ヲ施行執行ス
ル
其他總テ前諸項中ニ記載セル諸件ハ若シ足
下ノ相当ナリト思考スルニ於テ二名以上人代眞ヲ以テ足
下代理ヲ為サシメ又ハ右殖民地及ヒ其附屬
ノ地方海上内ニ於テ右諸件ノ職務ヲ行フ為
メ何時ニ依ラズ足下ニ附屬スル他ノ必要適
當ナル官吏ヲ撰定補任スルノ權ヲモ併セテ

之ヲ委任ス

然レモ此委任状ニ及シテ英吉利海上々等裁
判所及ヒ其判事主簿官等ノ權利ヲ侵オス可
カラス又ハ何人ニ依ラズ右殖民地及ヒ其附
屬ノ地方内ノ海上裁判所ニ於テ言渡ヲ為ス
可キ終審裁判ト半途裁判トヲ問ハズ其裁判
ニ服從セスシテ更ラズ之ヲ英吉利ノ海上々
等裁判所ニ上訴スルノ權利ヲ妨ク可カラス
若シ我々知事兼船將タル足下ノ每年即チ每
年ノ歳末ヲ以テ足下ノ此委任状ニ依テ施行
執行シタル條件ヨリ徵收領收シタル物品等ノ明
瞭誠実ナル報告ヲ合法ノ書式ヲ以テ造リタ
ル足下ノ管理スル官印ヲ鈐シタル書面ヲ以

テ(足下ノ求メヲ受クルモ)我カ英吉利ノ海上
上等裁判所ノ所長ハ証明セサル時ハ其時ヨ
リ以後此海上裁判所ノ官職ノ委任状ハ無効
廢物ニ屬シテ一モ其効カナカル可シ
其他此委任状ヲ以テ副知事、治安裁判官、邑長、
郡長、船將、命令執行官、検査官、監獄長、警察官、及
シ其他ノ官吏忠実ナル藩屬ノ人民等ハ前諸
項中ニ記載セル諸件ヲ行フニ付右殖民地ノ
知事兼船將タル足下ノ代負又ハ足下ノ命シ
タル右殖民地ノ海上裁判所官吏等ニ相当ナ
ル助力ヲ為シ又ハ其命令ニ從フ可ク若シ肯
セサル時ハ法律上ノ刑罰ヲ科ス可キヲ命
ス

千七百一十一年十月三日英吉利海上ノ等裁判
所ニ於テ之レニ官印ヲ鈐シ倫頓ニ於テ正
ニ之ヲ交附スルモノナリ
此委任状ノ外尚ホ之レニ次テ彼ノ海賊防遏ノ
為メ頒布セシ第三世ウヰリアム帝ノ即位第十
一年ヨリ十二年ニ亘ルノ制法ニ從テ殖民地ノ知
事及シ其他主タル官吏ニ發出セシ委任状アル
カ此委任状タルヤ之ヲ以テ何時ニ依ラス海上、
海岸、河川、港江其他水師提督ノ航海律ト海上裁
判所ノ手續トニ從テ裁判權ヲ有スル場所内ニ
於テ犯シタル海賊、重罪及シ強盜等ノ訊問ノ為
メ必要ナル時ヲ以テ海上裁判所ヲ設立シ或ハ
開設ス可キヲ委任シタルモノナリ即チ左ニ

記載ヤルモノハ知事ベルラモント侯江奔出セ
シ其委任ナリトス

一般ノ海上裁判所ノ委任状

爰ニ信実ノ保護者タル英吉利蘇格蘭佛蘭西
及ヒ愛再蘭ノ皇帝第三世ウヰリアム天神ノ
恩惠ニ依リ謹ニテ我カ米國ノ新約克州及ヒ
其附屬地ノ船將兼知事タル最モ忠実親愛ナ
ル我カ從兄弟バルラモント侯リチャード氏
及ヒ當時ノ該州ノ船將兼知事、該州ノ副船將
兼副知事タル忠実親愛ナルジョーン、ナンファ
ン氏及ヒ當時ノ該州ノ副船將副知事、當時ノ
該州ノ副船將兼副知事、當時ノ新約克東西ニ
ニウ、ゼルセー及ヒコン子クテカツト等ノ諸

州ノ副水師提督、新約克州ノ州會議員タル忠
実親愛ナルステヘン、ユルトランドウヰリア
ム、スミス、ペツタル、スクイレル、ジョーン、ヨシガ
ゼー、ムス、ガラハム、アブラハム、デ、ペー、スタ
ロブ、トリウ、キング、ストー、ン、サミ、ウイ、ル、ステ
ー、ツ、ジ、ヨ、ン、カ、ル、バ、ル、及ヒ、ロ、バ、ルト、ウ、ア、ル、タ
ルスノ諸氏及ヒ當時ノ該州ノ州會議員、當時
ノ新約克州ノ判事長、當時ノ新約克東西ニウ、
ゼルセー及ヒコン子クテカツト等ノ諸州ノ
海上裁判所ノ判事、當時ノ此等諸州ノ海上裁
判権内ニ屬スル場所ノ軍艦、忠実親愛ナル
船將、當時ノ新約克州ノ忠実親愛ナル書記官、
新約克州ノ租稅徵收官タル忠実親愛ナルト

イマヌ、ウヘーウ、アル氏及ヒ当時ノ該州ノ租
稅徵收官、米國所在ノ英國稅関ノ検査官長タ
ル忠実親愛ナルハトリツク、ソーン氏イトウ
アード、ランドルフ氏及ヒ当時ノ米國所在ノ
英國所在メ英國稅関ノ検査官長、我カ伯父タ
ル第二世チャールズ帝ノ即位第二十五年ヲ
以テ殖民地ノ貿易ヲ一層盛大ナラシムル為
ノ頒布セラレタル制法ニ從テ余セラレタル
当時ノ新約克東西ニウセルセー及ヒコニ子
クテカット等ノ諸州ノ忠実親愛ナル殖民稅
徵收官及ヒ忠実親愛ナルゼヨルジ、ラルビン
氏等ノ諸氏ニ命ス
爰ニ議事院ノ最終ノ集會ヲ以テ頒布セル海

賊防遏ノ條例ニ據ルニ總テ海上、港江、河川其
他水師提督ノ裁判權ヲ有スル場所内ニ於テ
犯シタル海賊、重罪、強盜等ハ米國所在ノ我カ
諸島、殖民地、所領、堡砦、製造所等ノ海上、陸地中
我カ委任官ヨリ水師提督、副水師提督、第三等
水師提督、海上裁判所ノ判事又ハ軍艦ノ船將
其他當時相当ナリト思考スル人々若クハ官
吏ニ宛テ英吉利ノ官印若クハ英吉利海上裁
判所ノ官印ヲ鈐シタル令狀ヲ以テ命ス可キ
場所ニ於テ右條例ノ規則ニ從テ糾問シ搜查
シ審問シ聽亂シ裁決ス可ク又右委任官ハ各
各其署名鈐印ノ令狀ヲ發シテ其誓約ヲ以テ
告訴セラレタル海上ニテ犯シタル海賊、重罪

強盜罪等ノ被告人ヲ安全ノ管守ニ附シ又ハ
時宜ニ從ヒ船中或ハ陸地ニ於テ少クモ七名
以上ノ人負ノ列席ヲ以テ海上裁判所ヲ開設
セシムルノ權アル可シトシ若シ七名以上ノ
人負集會シ能ハサル時ハ其三名ノ内英吉利
製造所ノ所長若クハ右殖民地ノ副知事兼副
船將若クハ州會ノ議長若クハ議員若クハ英
國船ノ船將等ノ中ヲ以テ通常其一名トシ此
等ノ三名ニテ右條件ニ依テ船中若クハ陸地
ノ人民中ヨリ七名ノ負數ニ充ツ可キ人負ヲ
召集スルノ權アル可シトシ然シテ之ヲ召集
スルニ當テハ商人、製造者、殖民者又ハ英國軍
艦ノ船將、副船將、士官又ハ英國船ノ船將、船長

副船長等ノ外ハ何人ニ依ラズ之ヲ召集スル
ヲ得ヌ又ハ之ヲシテ右海上裁判所ニ列席シ
テ發言セシム可カラサルモノトス
又其前項ニ記載セル如ク召集セラレテ集會
セル人々ハ海上裁判所ノ訴訟手續ニ從ヒ海
賊強盜罪等ノ被告人ヲ帶引ス可キ令狀ヲ發
シテ之ヲ審問シ聽亂シ裁判シ又ハ証人ヲ召
喚シテ之ヲシテ誓約ヲ為サシメタル上之ヲ
訊問シ又ハ此等海賊、強盜、重罪等ノ訴訟ヲ聽
亂裁判スル為ノ必要ナル諸件ヲ行ヒ又ハ死
刑ノ言渡ヲ為シ又ハ令書制法及ヒ海上裁判
所ノ手續規則等ニ從テ右犯人ヲ罪刑ニ處ス
ル等ノ權アル可ク又其海賊強盜罪等ノ被告

人ノ若シ有罪ト決シタルニ於テハ第八世
シリール帝ノ即位第二十八年ヲ以テ頒布セラ
レタル海上ノ海賊強盜等ノ審問ニ関スル制
法ニ從ヒ總テ其所有ニ屬スル地所及ヒ物件
財品等ヲ没收ス可シトス

依テ右條例ニ從ヒ此委任状ヲ以テ右ベルラ
モント侯リテヤード氏及ヒ當時ノ新約克州
ノ知事兼船將、ジヨン、ナンファン氏及ヒ當時
ノ該州ノ副知事兼副船將、當時ノコン子クテ
カット州ノコルロ子ノ知事、當時ノ新約克
東西ニウ、ゼルセー及ヒコン子クテカット等
ノ諸州ノ副水師提督、新約克州ノ州會議員、夕
ルステヘンコルトラントウ井リアム、スミス

ペツタル、スクイレル、ジヨン、グゼー、ムス、
グテハムイ、デヘー、スタル、ロベルト、リウ、井ン
グスト、インサミウ、イル、ステ、リウ、ツ、ジ、ヨ、ン、カ、ル
ゴ、ル、及、ヒ、コ、バ、ル、ト、ウ、ア、ル、タ、ル、ス、等、ノ、諸、氏、及
ヒ、當、時、ノ、該、州、ノ、州、會、議、員、當、時、ノ、新、約、克、州、ノ
判、事、長、當、時、ノ、新、約、克、東、西、ニ、ウ、ゼ、ル、セ、ー、及、ヒ
コ、ン、子、ク、テ、カ、ツ、ト、等、ノ、諸、州、ノ、海、上、裁、判、所、ノ
判、事、當、時、此、等、諸、州、ノ、海、上、裁、判、所、ノ、裁、判、權、内
ニ、屬、ス、ル、場、所、ノ、軍、艦、ノ、船、將、當、時、ノ、新、約、克、州
ノ、書、記、官、ト、ー、マ、ス、ウ、ヘ、ー、ウ、ア、ル、氏、及、ヒ、當、時
ノ、新、約、克、州、ノ、租、稅、徵、收、官、パ、ト、リ、ツ、ク、ノ、ー、ン
氏、イ、ド、ウ、ア、ー、ド、ラ、ン、ド、ル、フ、氏、及、ヒ、當、時、ノ、米
國、所、在、ノ、英、國、稅、関、ノ、檢、査、官、長、當、時、ノ、新、約、克

東西ニウ、セルセー及ヒコン子クテカッツト等ノ諸州ノ殖民稅徵收官、及ヒゼラルジ、ラルビン氏等ノ諸君タル足下等ヲ以テ此等新約克東西ニウ、セルセー及ヒコン子クテカッツト等ノ諸州ノ海上或ハ陸地ニ於テ右條例ノ規則ニ從ヒ總テ海上、港江、河川其他水師提督ノ裁判權ヲ有スル場所内ニ於テ犯シタル海賊、重罪強盜罪等ヲ糾問シ搜查シ審問シ聽亂シ裁決可キ此等諸州ノ委任官トシ此委任狀ヲ以テ右ベルラモント侯リナヤート氏及ヒ當時ノ新約克州ノ知事兼船將シヨシ、ナニフアン氏及ヒ當時ノ該州ノ副知事兼副船將若クハ船將、當時ノコン子クテカッツト州ノマルロ子

ノ知事、當時ノ新約克東西ニウ、セルセー及ヒコン子クテカッツト等ノ諸州ノ副水師提督、新約克州ノ州會議員タルステヘン、エルトラン、ドウ、カリアム、スミス、ペツタル、スク、イレル、ジヨシ、ヨシ、ヨシ、グゼー、ムス、ガラハム、アブラハム、テペスタル、ロバルト、リウ、サング、スト、イン、カミ、ウ、イル、ステ、イツ、ジ、ヨシ、カル、ビル、ロ、バルト、ウアルタルス等ノ諸氏及ヒ當時ノ該州ノ州會議員、當時ノ新約克州ノ判事長、當時ノ新約克東西ニウ、セルセー及ヒコン子クテカッツト等ノ諸州ノ海上裁判所ノ判事、當時ノ此等諸州ノ海上裁判所ノ裁判權内ニ屬スル場所ノ軍艦ノ船將、當時ノ新約克州ノ書記官、トーマス、

ウーハール氏及ヒ當時ノ新約克州ノ租稅
徵收官、パトリック、ソーン氏、イドウアート、ラ
ニドルフ氏及ヒ米國所在ノ英國稅關ノ檢査
官長、當時ノ新約克東西ニウ、ゼルセー及ヒエ
ン子クテカット等ノ諸州ノ殖民稅徵收官、及
ヒセラジ、ラルビン氏ノ諸君タル足下ノ此等
新約克東西ニウ、ゼルセー及ヒエ、ン子クテカ
ット等ノ諸州ノ右委任官ニ撰定補任スルモ
ノナリ
依テ右委任官タル足下等ハ各々其署名鈐印
ノ令狀ヲ發シテ總テ誓約ヲ以テ告訴セラレ
タル海上ニ於テ犯シタル海賊、強盜、重罪等ノ
被告人ヲ安全ナル管守ニ附シ又其告訴ヲ為

ス者ハ之ヲシテ誓約ヲ為サシムルノ權アル
可ク又時宜ニ從ヒ船中若クハ陸地ニ於テ少
クモ七名以上ノ人負ノ列席ヲ以テ海上裁判
所ヲ開設ス可ク若シ委任官タル足下等ノ中
七名以上ノ人負集會シ能ハサル時ハ通常ベ
ルラモント侯リチャート氏若クハ當時ノ新
約克東西ニウ、ゼルセー又ハエ、ン子クテカッ
ト等ノ諸州ノ知事若クハ船將等ノ中ヲ以テ
其一名トシ足下等ノ三名ニテ右條例ニ從ヒ
船中若クハ陸地ノ人民中ヨリ七名ノ負數ニ
充ツ可キ人負ヲ召集スルノ權アル可ク然レ
氏之ヲ召集スルニ當テハ商人、製造者、殖民地
ノ人民又ハ英國軍艦ノ船將、副船將、士官又ハ英國船

ノ船將、船長、副船長等ノ外ハ何人ニ依ラス之
ヲ召集ス可カラス又ハ之ヲシテ右海上裁判
所ニ列席シテ稟言ヲ為サシム可カラス

又前項ニ記載セル如ク召集セラレテ集會セ
ル人々ハ海上裁判所ノ訴訟手續ニ從ヒ海賊
強盜罪等ノ被告人ヲ帶引ス可キ令狀ヲ登シ
テ之ヲ審問、聽糺、裁決シ又ハ証人ヲ召喚シテ
之ヲシテ誓約ヲ為サシメタル上之ヲ記同シ
又ハ此等海上ニホテ犯シタル海賊強盜等ノ
訴訟ヲ聽糺、裁決スル為メ必要ナル諸件ヲ行
ヒ又ハ死刑ノ言渡ヲ為シ又ハ航海律及ヒ海
上裁判所ノ手續規則等ニ從テ犯人ヲ罪刑ニ
處スル等ノ權アル可ク又其海賊強盜罪等ノ
被告人ノ若シ有罪ト決シタルニ於テ第八世
ヘンリー帝ノ治世中ニ頒布セラレタル右制
法ニ從ヒ總テ其所有ニ屬スル地所及ヒ物件

財產等ヲ沒收ス可シ

又海上陸地ニ於テ開設スルトヲ問ハス前項

ニ記載セル裁判所ヲ開設スル時ハ先ツ第一

ニ此委任状ヲ公然朗読シタル上嚴然之ヲ聞

設スル旨ヲ公告シ然ル後ハモント戻リ

チヤト氏若クハ當時ノ新約克東西ニ在セル

セー又ハコニ子クテカツト等ノ諸州ノ知事

足下等ノ内先ツ公庭ニ於テ公然右條例中ニ

定メタル誓約ヲ為シ足下等ノ其定メタル方

法ヲ以テ誓約ヲ為シタル上ハ右記載セル四

徒ノ審問ニ於テ右裁判所ニ列席シテ發言ヲ

為ス可キ各人ヲシテ各々誓約ヲ為サシム可

ク又足下等ノ右訴訟ヲ聽紀裁決スルニ當テ

ハ右條例ト此委任状トニ定メタル足下等ノ

権カ職權ニ從フ可ク然シテ足下等ノ其聽紀

裁決シタル條件ハ總テ之ヲ簿冊ニ登記ス可

シ

此委任ノ証拠トシテ此委任状ヲ以テ正ニ

皇帝ノ特許ヲ受クルモノナリ

今上皇帝ノ即位第十二年十一月二十三日

ウハストニニスタルニ於テ証ス

又殖民地ノ海上裁判所ノ判事は登出セシ委任

状モ亦明瞭詳細ナル文意ヲ以テ之レニ其裁判

権ヲ委任セリ然シテ殖民地ニ於テ其當初ヨリ

我々米國革命ノ時ニ至ル迄民事ニ関スル海上

裁判所ノ司法権ヲ行ヒシハ全ク此等ノ委任状

ニ依テ行ヒシ者ナリ
即チ左ニ記載セルモノハ一千七百六十二年十月十五日ヲ以テリチャードモルリス氏ハ發出セル委任状ナリトス

海上裁判所ノ判事ノ委任状

リチャードモルリス氏ヲ英國ノ新約克コ
ン子クテカツト及ヒ東西ニウセルセー等
ノ諸州ノ海上裁判所ノ判事ニ任スル皇帝
ノ委任状

爰ニ信實ノ保護者タル大英國佛蘭西及ヒ愛
爾蘭ノ皇帝第三世セラルジ天神ノ恩恵ニ依
リ謹ンテ此委任状ヲ以テリチャードモルリス
氏タル足下ヲ撰定シテ先亡判事ノ代英ト

シテ英國ノ新約克コ
ン子クテカツト東西ニ
ウセルセー等ノ殖民地及ヒ其附屬ノ地方ノ
判事ニ命シ然シテ足下ニ總テ航海ニ関ス
ル民事ノ訴訟又ハ請願、契約、犯罪、疑案ノ犯罪、
重罪、告訴、負債、為換券、保險証書、計算、倉庫、船舶ノ
契約、約定、船舶ノ積荷証書及ヒ其他其方法ノ
如何ヲ問ハス雇船貸船等ノ延滞セル船賃或
ハ運送賃或ハ船書入貨等ニ関シ又ハ高人間
若クハ船主ト其船ヲ雇入レル商人或ハ其
他ノ者トノ間若クハ其他海上、河流、港江、河川、
海水ノ出入スル場所或ハ此等接近ノ海岸ニ
於テ訴訟ノ原由タル條件ヲ遂行シ或ハ関手
ニ或ハ約定セル人々間ノ訴訟、侵害、損害、苛

處計求及ヒ其他ノ民事上ノ航海事務ニ関ス
ル總テノ條件契約等ノ訴訟及此等訴訟附帶ノ條
件告訴等ヲ聽糺裁決シ又此等ノ訴訟ヲ聽糺裁決
スルニハ米國ノ新約克コソ子クテカワト東
西ニウ、ゼルセル等ノ殖民地及ヒ其附屬ノ地
方内ニ於テ航海律ト英吉利海上々等裁判所
ニ於ケル習慣トニ從テ聽糺裁決シ又此等ノ
訴訟ヲ聽糺裁決スル為ノ此等ノ殖民地中ノ
府邑内ニ於テ裁判所ヲ開設シ法律ニ從テ正
當ノ裁判ヲ為ス等ノ權ヲ委任ス
其他右訴訟ニ付若シ証人ノ便益、忌憚、惡意或
ハ其他ノ理由ニ依リ法律ニ從テ真正ノ証人
ヲ陳供スルヲ肯セサル時ハ之ヲシテ強テ其

証人ヲ陳供セシメ又ハ契約負債或ハ其他ノ
條件等ニ付職權ニ依リ又ハ原被告人ノ求メ
テ以テ保任、責任、保証、約定等ヲ為サシメ又ハ
謀反、海賊、人殺、重罪等ノ犯人ノ物品其隱匿所
及ヒ此等ノ犯人又ハ溺死人被殺人或ハ其他
ノ方法ヲ以テ海上、港江、河川、河流、其他海水ノ
流入スル場所内ニ於テ生命ヲ失ヒタル者等
ノ身体又ハ此等ノ場所内ニ於テ受ケタル創
傷又ハ禁制不法ノ器械、器具漁網及ヒ此等ノ
所有者又ハ公理正道ト往古ヨリノ習慣トニ
依テ皇帝ト英吉利ノ海上々等裁判所トニ屬
スル鱒魚、鯨魚、海豚、「ドルヒ」「キツ」「グ」「グラ」「ン」パ
シ其他肥大ナル海魚等ノ皇帝ノ魚類等ヲ搜

査スル

又總テ海上ノ不慮ノ災害、破船ノ物品、浮貨、投
荷、沈貨、股分、海中ニ擲棄シタル物品、其他棄物
トシテ拾收シ若クハ偶然発見セル物品又ハ
米國ノ新約克^コ子^クテ^カツト東西ニウセ
ルセ^一等ノ殖民地及ヒ其附屬ノ地方内ノ海
上、港江、河川、河流及ヒ其他海上ヨリ第一ノ橋
梁ヨリ海上迄ノ海岸等ニ於テ犯シタル他ノ
侵害、輕罪、犯罪、允忌罪其他海上ノ犯罪等ヲ搜
査スル

又此等ノ搜查ヲ為スニ當リ未タ弁償ヲ終ハ
ラサル罰金、過料、償金、負債等トシテ発見セル
モノハ總テ之ヲ賦科シ輕減シ計求シ徵收シ

領收シ又ハ人ヲシテ計求徵收領收セシメ又
ハ法律ニ從テ強テ之ヲ弁償セシメ或ハ弁償
スヘキ^一ヲ令スル

又航海律ト往古ヨリノ英吉利海上々等裁判
所ニ於ケル習慣其他合法ノ方法手續等ニ從
テ足下ノ熱練ト鑑識トヲ以テ右記列セル訴
訟及其他(右米國、新約克^コ子^クテ^カツト及

東西ニウセ^ル等ノ諸州ノ殖民地ノ海上
裁判所ノ裁判權内ニ屬スル場所内ニ於テ負
債者ノ物品若クハ身体ヲ発見スルヲ得^ハ約
定シ發生シタル契約、告訴、蔑如、犯罪等ノ審問
ヲ問テ之ヲ糾問、弁論シタル上之ヲ裁決スル
下然レモ其裁決ニ對シテ英吉利ノ海上々等裁判

所ト及ヒ其當時ノ判事トニ上訴スルノ權利
ヲ妨ク可カラス又ハ此委任狀ニ反シテ該上
上等裁判所及ヒ其判事ノ權利ヲモ妨ク可カ
ラス

又此等ノ訴訟及ヒ其訴訟ニ関スル條件ニ付
右米國ノ新約克コソ子クテカツト東西ニウ
セルセリ等ノ諸州ノ殖民地及ヒ其附屬ノ地
方ニ於テ發見ス可キ船舶、人身、物品、給料及ヒ
高品等ヲ差押ハ或ハ差押ニ可キ丁ヲ命シ又
ハ此等ノ訴訟ニ付時宜ニ依リ何人ニ依ラヌ
之レニ出廷ヲ命シテ答弁ヲ為サシノ若シ其
命令ニ應セサル時ハ法律ト右記載セル習慣
トニ從テ之ヲ懲戒シ或ハ其他之レニ罰金過

料等ヲ科シ又ハ專ラ事實ノ有実ニ注意シ法
律上ノ正当ノ順序ト手續トニ從テ正当ノ裁
判ヲ為ス丁

又前項ニ記載セル航海律、法例、習慣其他英吉
利海上裁判所ノ為メニ定メタル大英國ノ法
例、制法等ニ從ヒ其罪科ノ種類ニ依テ有罪者
海上裁判所ノ法律、裁判權等ニ對スル犯罪人
強奪人、違反者、不當ニ職務ヲ放レタル者、船長
航海者、水夫、漁獵者、船匠其他航海ノ事務ニ從
事スル職工、施術者等ヲ罰シ懲戒シ處刑シ譴
責シ感化シ又ハ右記載セル米國ノ新約克コ
ソ子クテカツト東西ニウセルセリ等ノ諸州
ノ殖民地及ヒ此等ノ航海上ノ場所内ニ在ル

獄舎ニ禁錮シ又ハ禁錮セシハル
 又其禁錮ニ附セラレタル者ノ之レヲ他ニ引
 渡ス可キ時ハ之ヲ引渡シ又ハ全ク之ヲ放免
 シ或ハ放免セシメ又ハ罪刑ノ言渡或ハ判決
 等ヲ宣告シ言渡シテ之ヲ執行シ然シテ其言
 渡執行等ヲ為スニ當テハ海上若クハ海上ノ
 通路若クハ己ニ遂行シ或ハ遂行ス可キ航海
 若クハ海上裁判所ノ裁判權等ニ関スル航海
 上ノ民事ニ屬スル他ノ訴訟ノ裁判權ヲモ有
 シ又ハ時宜ニ依テハ職權ヲ以テ若クハ原被
 告人ノ求メニ依リ航海律ト及ヒ右記載セル
 裁判所ニ於ケル往古ヨリノ習慣トニ從テ更
 ヲニ此等ノ訴訟ヲ審問スルノ權等モ亦之ヲ

委任ス

又(皇帝所好ノ間有効ニ存ス可キ)此委任状ヲ
 以テ右判事タルリチヤード、モルリス氏ナル
 足下ニ右記載セル場所ニ於テ(苟クモ右記載
 セル英吉利海上々等裁判所ノ特權ヲ除クノ
 外)前諸項中ニ記載セル諸件ニ関スル權カト
 職權トヲ委任スル謝報トシテ英吉利海上々
 等裁判所ノ習慣ニ從ヒ往古ヨリ右判事ノ官
 職ニ屬スル給料、手数料、所得、利益及ヒ便益等
 ヲ額收スルノ權及ヒ前諸項中ニ記載セル事
 件ニ付是下ノ相当ナリト思考スル一名以上
 ノ代負ヲ以テ足下ノ職務ヲ代理セシムルノ
 權等モ亦併セテ之ヲ委任ス

其他此委任状ヲ以テ右米國ノ新約克
クテカツト東西ニウセルセト等ノ諸州ノ殖
民地及ヒ其附屬ノ地方内ノ副知事、副船將、治
安裁判官、邑長、郡長、命令執行官、監獄長、検査官
警察官及ヒ其他ノ官吏誠實ナル藩屬ノ人民
等ニ此委任ヲ執行スルニ付テハ何時ニ依
テ不足下若クハ足下ノ代員ニ相当ナル助カ
為シ且其命令ニ從フ可ク若シ肯セサル時ハ
法律上ノ刑罰ヲ科スヘキヲ命ス
今上皇帝ノ治世千七百六十二年十月十六
日英吉利海上々等裁判所ニ於テ之レニ官
印ヲ鈐シ倫頓ニ於テ正ニ之レヲ交付スル
モノナリ

右ノチャード、モルリス氏ノ前判事タルウ井
ス、モルリス氏モ右記載セルモノト同一ノ文面
ノ委任状ニ依テ千七百三十八年ヨリ此官職ヲ
奉職セシカ此等ノ委任状ハ曾テ此官職ヲ奉職
セシロガム、モシベスソシ氏及ヒフランシスハ
ルリソシ氏等ニ發出セシ委任状ヲ反認セシモ
ノナリ然シテ此等ノ委任状中ニテラウハ
ヨリマスサチウセスツ等ノ殖民地モ亦其中ニ
包含セシモノナリ

原註

余ハ曾テ此等ノ委任状ノ記録ヲ見聞
セシカ其委任セシ地方ノ区域ヲ表示スル為
メ差ニ之ヲ記入ス可シ若シ讀者ノ之ヲ見聞
セシト欲セハ新約克州ノ内務省ニ於テ之ヲ

登見スルヲ得可シ即チ

ヨルク炭セーラムス氏ヨリトーマス、ドンガン

氏に登シテ氏ヲ新約克州及ヒ其附属ノ諸島

ノ知事ニ任セシ千六百八十二年九月三十日

附ノ委任状但シ該州ノ副水師提督ニ任セシ

委任状ハ千六百八十二年十月三日附ナリ

第二世セーラムス帝ヨリイドマンドロス氏に

登シテ氏ヲ新約克及ヒ、ニウ、イシングラントノ

知事ニ任セシ千六百八十八年四月七日附ノ

委任状

ウカリアム帝及ヒマリイ女帝ヨリヘンリ、

スロータル氏に登シテ氏ヲ知事ニ任セシ千

六百八十九年一月四日附ノ委任状

右同帝ヨリベンジャミン、フレツチャル氏に

登シテ氏ヲ新約克東西ニウ、セルセーニウ、カ

ストルノ諸州及ヒ其附属地等ノ副水師提督

ニ任セシ千六百九十三年附ノ委任状

第三世ウカリアム帝ヨリベルラモント炭ニ

登シテ炭ヲ新約克マスサチウセスツ曲海ニ

ウ、ハンアシヤイア及ヒ其附属地ノ副水師提

督ニ任セシ千六百九十八年附ノ委任状

ロシガム、モンベスリシ氏ヲマスサチウセス

ツ曲海ニウ、ハンブシヤイアコン子クカツ

トロイド、アイランドセルセー新約克ヤレシ

ルウアニア及ヒ此等附属地ノ海上裁判所ノ

判事ニ任セシ千七百三年四月一日附ノ委任

狀

第一世セラルジ帝ヨリフラミス、ハルリソン

氏に祭シテ氏ヲ新約克州ノ海上裁判所ノ判

事ニ任セシキ七百二十一年二月十三日附ノ

委任狀

第二世セラルジ帝ヨリレウオスモルリス氏

に登シテ氏ヲ新約克州ノ海上裁判所ノ判

事ニ任セシキ七百三十八年一月十六日附ノ

委任狀

米國殖民地ノ海上航海ノ裁判權ノ起源ヨリ

及ヒ其權限區域等ヲ規定セシハ全ク此等ノ委

任狀ニ依ルモノトス然シテ米國革命前ニ於テ

ハ英國ノ海上裁判權ニ關スル制法中米國ノ殖

民地ヲ掲載シテ此等殖民地ニ至ル迄其法律ヲ

及ホセシモノアルトハ未ダ曾テ余ノ聽カサル

所ニシテ彼ノ所謂制法ハ苟クモ別段指定セル

モノニアラサルヨリハ殖民地ニ及ハサルトト

及ヒ皇帝ノ委任ハ英國ノ所領中及ハサルノ地

ナキトトノ著明ナル法律ヲ以テ觀ル時ハ此等

ノ委任狀ハ之ヲ以テ此等殖民地ノ海上裁判權

ノ起源ト法律ト為スニ足ル可シ然シテ此等ノ

委任狀ニ據ルニ其裁判權ハ總テ航海ノ民事

ノ訴訟ヨリ雇船ノ契約為換券保險証書計莫負

債積荷証書約定請願犯罪及ヒ其他船賃運送賃

海上ノ貸金、船書入賃、侵害損害促進討求其他航

海上ノ事件等ニ関スル總テノ條件ニ至ル迄及
 フ可ニトシ然シテ其文面ノ如キハ最モ明瞭ニ
 シテ其航海ニ関スル條件中英吉利海上裁判
 所ニ於テ其裁判權ヲ有セサル訴訟ハ故ラニ之
 ラ海上航海上ノ訴訟トシテ記列シ苟クモ航海
 上ニ関スル條件ハ一トシテ其中ニ包含セサル
 モノナシ
 又其裁判權ノ及フヘキ場所ノ區域ニ付テ觀ル
 時ハ亦其權限頗ル廣大ニシテ苟クモ海上、河
 港、江河、川、其他海水ノ出入スル場所内ニ於テ又
 ハ海上ヨリ第一ノ橋梁迄ノ間ニ於テ為シタル
 條件ハ總テ其權内ニ属スルモノトス
 又ハ其裁判權ノ及フ可キ人々ニ付テモ亦其權

限頗ル廣大ニシテ苟クモ海上、河流、港、江、河、川、其
 他海水ノ出入スル場所内ニ於テ又ハ此等接近
 ノ海岸ニ於テ為シタル條件、事務損害等ニ関ス
 ル高人間若クハ高人ト船主或ハ其他ノ者トノ
 間ニ於ケル討求事件等ハ總テ其權内ニ属スル
 モノトス故ニ船舶ヲ建造準備スル者又ハ船舶
 ヲ機装シ警守シ或ハ之レニ物品ヲ供給スル者
 又ハ船舶ノ船積貨卸等ヲ為ス者又ハ船舶ヲ雇
 入ル、者又ハ船舶ノ航海或ハ保存ノ為メ若ク
 ハ其他其船舶ヲ以テ從事ヒシ目的ヲ遂行スル
 為メニ必要或ハ便利ナル諸種ノ職務ヲ行フ為
 ノ船中ニ雇入レタル者又ハ船舶ニ損害ヲ加ヘ
 或ハ船舶ニ関スル職務義務等ヲ破リタル者等

ノ如ク苟クモ航海ノ事務ニ關係アル者ハ總
テ其中ニ包含スルハ論ヲ待タサルナリ是レニ
由テ之ヲ觀レハ米國ノ殖民地ニ於ケル海上裁
判權ハ曾テ海上裁判所ヨリ討求セシ裁判權ト
彼ノドクトル、コイルトヒン氏ノ大ニ論究セシ
權カトハ總テ其權内ニ屬スルモノニシテ實ニ
英語ニ依テハ是レヨリ一層明瞭廣大ナル允
ヲ為スヲ得ハキモノニアラス
又此等ノ委任狀ハ藩屬政府ノ時代中ハ其最モ
明瞭ナル文意ヲ以テ始終之ヲ發出シテ米國及
ヒ其他ノ場所ニ於テ其權カヲ施行セリ是レ米
國革命前殖民地ノ海上裁判所ニ於テ現ニ施行
セシ事務ノ記録ニ付テ觀ル所ハ其廣大ナル裁

判權ハ唯ク有名無實ニ屬セシニアラスシテ全
ク現ニ之ヲ施行セレトテ徵スルニ足ルモノト
ス
斯ノ如ク米國殖民地ノ海上裁判權ハ其權限ノ
廣大ナリシヨリ曾テ米國革命ノ時ニ當テ殖民
ノ歎訴スル所ト爲リ又此等ノ歎訴狀及ヒ公書
類ノ記載スル所ニ依テ觀ル時ハ其往古ヨリノ
權限外ニ此等ノ裁判權ヲ擴張セシヲ以テ人民
ヲ疾苦セシムルノ一事ト爲セリ然リ而シテ諸雜
稅ノ賦課租稅ノ徵收等ヨリシテ殖民地ト本國
トノ間ニ爭論ヲ生シタルヨリ此等ノ爭論ニ關
スル皇帝ノ地所ノ侵害及ヒ其他特別ノ犯罪等
ニ關スル裁判權モ亦總テ之ヲ海上裁判所ノ權

内ニ属セリ即チ往古ノ國會ノ其苦難ノ箇條書ニ載セテ曰ク「何人ニ依ラス租税ノ賦課商業ノ制限等ニ関スル制法ニ對シテ罪ヲ犯シタル時ハ公訴人海上裁判所ニ其處刑ヲ求ムルノ訴訟ヲ提起スヘシト元來此等ノ訴訟ハ一モ海上航海上ノ訴訟ニ属スルモノニアラス全ク軌迹ニ至リ往古ノ權限即チ委任狀中ニ規定セル權限外ニ其權カラ擴張セシヨリ終ニ殖民地人民ノ請願スル所ト為リタルモノニシテ全ク往古ヨリ施行セシ海上航海上ノ裁判權ヲ妄用セシモノナリ是レニ由テ是レヲ觀ル時ハ此等ノ請願ニ從テ我々憲法中ニ海上航海上ノ裁判權内ニ属スル總テノ訴訟ナル言詞ヲ適用セシハ全ク

總テト云ク航海上ト云フノ言詞ハ各々共ニ其至當ノ意義ヲ以テ採用セシモノニ係ルヲ徴スルニ足ルモノトス

第十章 諸州海上裁判所ノ裁判權ノ事

米國ノ諸州ニ於テハ革命ノ時ヨリ各々唯タ彼ノ會盟條例中ニ制限セルモノヲ除クノ外互ニ總テノ主權ト其廣大ナル司法權トヲ享有セリ然レテ此等ノ諸州中往古ヨリ海上裁判所ノ設ケアリシ各州ニ於テハ各々其裁判所ヲ保存シテ其判事ハ新クニ創立セル州政府ヨリ海上裁判所ノ判事トシテ簡單ノ委任狀ヲ以テ之ヲ命シ然レテ其權カノ如キハ制法中一モ之ヲ規定

セシモノナリ又其委任状中ニ於テモ亦之ヲ沈
 黙ニ附シテ全ク其判事タル者ヲシテ曾テ殖民
 地ノ海上裁判所ニ於テ施行セシト同一ノ権力
 ヲ行ハシヨリマスサチウセスツ及ヒ新約克等
 ノ諸州即チ是レナリ又新約克州ニ於ケルカ如
 ク他ノ州ニ於テハ彼ノ第二世リテヤード帝ノ
 即位第十五年ノ制法ヲ認可シテ之ヲ收用シ又
 他ノ州ニ於テハ一モ更改セスシテ其裁判權ヲ
 保存セリ斯ノ如ク諸州ノ海上裁判所ノ構成及
 ヒ其權限等ハ各州共ニ各々大ニ異ナリテ又此
 等ノ諸州中ニハ或ハ全ク海上裁判所ヲ廢棄セ
 シモノアリ或ハ新タニ之ヲ設立シテ制法ヲ以
 テ其權カヲ規定セルモノアリ(ガリーシリーフ

氏新約克法律ノ十一号十八号百五十号百五十
 二号及ヒ三百三十八号ヲ參觀スヘシ
 バレシルウアニア州ニ於テハ千七百七十八年
 九月九日ヲ以テ海上裁判所ヲ設立ス可キ制法
 ヲ頒布シ爾後千七百八十年ヲ以テ更ラニ其裁
 判權ヲ創立規定スルノ制法ヲ頒布シ然シテ此
 最終ノ制法ニ依リ海上裁判所ノ判事ハ其裁判
 所ヲ開設シテ總テ慣例法上ノ權内ニ属スルニ
 アラスシテ全ク航海海上ノ裁判權内ニ属スル争
 訟、訴訟、告訴等ヨリ及ヒ其他唯ク該裁判所ニ對
 シ犯シタル蔑如罪ノミヲ除クノ外總テノ犯罪
 重罪等ヲ審問裁決シテ航海律萬國公法及ヒ本
 州ノ法律等ニ從テ其裁判ノ言渡レヲ為ス可キ

旨ヲ定メリ
 又右制法ノ第二十二條ニ依リ總テ本州ノ海上
 裁判所ニ於ケル訴訟ハ英國ノ「キンクス、ベンチ
 廳」ヨリ禁令狀ヲ登シテ停止セシモノト同一ノ
 訴訟ニ付其同一ノ方法ヲ以テ米國大審院ヨリ
 同一ノ効力アル禁令狀ヲ登シテ其處分ヲ停止
 セラル、トアル可キ旨ヲ定メリ（千七百七十八
 年ノベンシルウニア州ノ法律ヲ參觀スヘシ）
 又ニウゼルセル州ニ於テハ千七百八十一年ヲ
 以テ海上裁判權ヲ創立規定スルノ制法ヲ頒布
 シ然シテ該制法ニ依リ海上裁判所ノ判事ハ其
 裁判所ヲ開設シテ總テ海上ニ於テ國敵海賊等
 ヨリ收奪シ或ハ收回シタル戦利ノ收奪收回等

ニ関スル訴訟其他總テ航海海上ノ裁判權内ニ屬
 スル訴訟、訴訟、告訴等ヲ審問裁決シテ航海律万
 國公法、米利伽合衆國々會ノ法例及ヒ本州ノ
 法律等ニ從テ其裁判ノ言渡ヲ為ス可キ旨ヲ定
 メリ
 然シテ其二條ニ定メテ總テ此等ノ訴訟ハ陪審
 ノ訊問ニ附ス可シトシ又其二十條ニ依リ禁令
 狀ニ付ベンシルウニア州ニ於ケル制法中ニ
 定メタルモノト同一ノ規則ヲ設ケリ（千七百八
 十一年ノニウゼルセル州ノ法律ヲ參觀スヘシ）
 又マリーランド州ニ於テハ千七百七十六年ヲ
 以テ海上裁判所ヲ設立シテ之ヲシテ收奪掠奪
 等ノ審問ヲ委任シ且之レニ此等收奪掠奪等ニ

関スル総テノ詭譎ノ訴訟ヲ審問シテ終審ノ裁
 判ヲ為スルキ権カヲ附與セリ然レテ此等ノ訴
 訟ハ他ノ海上裁判所ニ於ケル如ク通常ノ方法
 ヲ以テ審問裁決スヘシト雖モ若シ原被告人ノ
 中ヨリ争訟中ノ主タル事實ニ付陪審ノ訊問ヲ
 請求スルハ陪審ヲ召喚ス可キモノトセリ
 七百七十六年ノマリーランドノ法律ヲ參觀ス
 可シ
 又ウヘルジニア州ニ於テハ千七百七十九年ヲ
 以テ左ノ如キ制法ヲ頒布セリ即チ
 爰ニ本州ノ州會ハ海上裁判所ハ三名ノ判事ヲ
 以テ定算トスルト雖モ二名ノ判事ヲ以テ之ヲ
 開設スルヲ得可ク然レテ唯々當時告訴中ニ係

リ又ハ将来告訴セラル可キ死刑ニ該ル可キ犯
 罪ノ告訴ヲ除クノ外ハ總テ航海海上ニ関スル訴
 訟ノ裁判權ヲ有ス可キトテ決定ス云々又該制
 法ニ依リ海上裁判所ニ於テ此等訴訟ノ審問裁
 決ヲ為スニハ亞米利伽合衆國々會ノ規則本州
 々會ノ決議又ハ英國ノ海上裁判所ニ於テ往古
 ヨリ遵守セシ彼ノラレロシノ法律ヨリテ
 ノ法律及ヒ其他万国公法等ニ從テ審問裁決ス
 可キ旨ヲ定メリ是レニ由テ之ヲ觀ル時ハ此等
 諸州ニ於ケル海上裁判權ハ其權限頗ル廣大ニ
 レテ當時英國ノ海上裁判所ニ於テ採用セシカ
 如キ狹隘ナル區域ノ手續ニ依ラスシテ往古ノ
 法例航海律ト羅馬法トニ從テ全ク英國海上裁

判所ノ往古ノ手續ヲ收用セルヲ着破セサル者ナカル可シ
 斯ノ如キモノハ則チ余ノ所及ヲ以テ蒐集スルヲ得シ諸州ニ於ケル往古ノ制法ニシテ蓋シ此等ノ制法ヲ以テ觀ル時ハ此等諸州ノ十二州ニ於ケル海上裁判所ノ各々異ナルヲ充分徵スルニ足ル可レ然シテ此等ノ諸州ハ仮令某種ノ目的ニ付テハ各々親和聯結セシト雖モ互ニ相獨立シテ他州ニ對シテハ各々恰カモ外國タルニ異ナラサリシカ故ニ各州共ニ此等ノ不同アルハ到底之ヲ免カレ可カラサルモノナリ
 斯ノ如ク諸州ノ海上裁判權ハ各州共ニ其制規ヲ一ニセサリシヲ以テ此一事ヨリシテ觀ル時

ハ彼ノ憲法上ニ所謂海上航海上ノ裁判權内ニ屬スル總テノ訴訟云々ノ一句ハ唯タ之レニ前諸項中ニ記列セサレ諸州ニ於ケル此等ノ訴訟ノミヲ包含スルモノニシテ前諸項中ニ記列セラル諸州ノ其海上裁判權ニ関スル法律ハ各々多少有効ニ存セシモノ、如シト虽モ若シ果シテ然ラハ海上裁判權ノ制規ヲ一ニセサルノミナラス尚ホ我カ建國ノ法律ヲモ異ニシテ彼ノ憲法上大政府ニ允許セシモノヲシテ各州共ニ各々異ナル解釈ヲ為サシム可キモノト云ハサレヲ得ス果シテ然ラハ合衆國ノ司法上ノ政度ハ全ク之ヲ行フヲ得サル可シ是レニ由テ之ヲ觀ル時ハ海上裁判權ヲ大政府ニ允許セシハ全ク

斯ノ如ク諸州海上裁判所ノ各々異ナリシニ依
 レモノニシテ其憲法上ニ允許セルモノニハ國
 内一般ノ航海ノ裁判權ヲ包含スルハ毫ヒ疑
 ヒテ容レ可カラサルナリ
 若シ諸州ニ於テ未タ憲法ヲ制定セサル前ヲ以
 テ各々彼ノ第二世リケヤード帝ノ即位第十五
 年ノ制法ヲ義認シテ之ヲ採用セシニ於テハ果
 シテ憲法ノ解釈上ニ如何ナル影響ヲ及ホセシ
 ヤハ未タ之ヲ認知セスト虽モ若シ憲法制定前
 ヲ以テ各州共ニ各々其海上裁判所ヲ廢棄シテ
 總テ其海上航海ノ裁判權ヲ擲棄セシニ於テ
 ハ蓋シ彼ノ疑問ヲ係ル憲法上ノ允許ノ唯タ無
 用廢物ト為ラサルノミナラス反テ一層貴重ナ

ルモノト為リ諸州ニ於ケル裁判權ノ变革或ハ
 權限等ノ仮令何様ナルモ之レカ為メ憲法上ニ
 允許セルモノ、解釈上ニ毫モ其影響ヲ及ホサ
 サリシハ敢テ疑ヒテ容レ可カラス果シテ然ラ
 ハ尚ホ他ノ種類ノ訴訟ヲモ乏ラ航海ノ訴訟
 ト為シ航海律ノ適用ト訴訟ノ裁決トラ一ニシ
 テ商業社會ト諸州トノ平等ヲ維持スル為メ此
 等ノ訴訟ヲ舉ケテ之ヲ大政府ノ司法權ニ屬ス
 ルトノ必要ト為リ若シ此等訴訟ノ裁判權ヲ大
 政府ニ允許セシニ於テハ此等ノ訴訟ハ國家ノ
 司法權ニ屬シテ之ヲ國會ニ於テ定ム可キ裁判
 所ニ委任シ其物權ニ関スルモノト人權ニ関ス
 ルモノトトフ向ハス國會ニ於テ定ムキ方法ヲ以テ

陪審ノ参席ニ依リ若シクハ参席ナクシテ其裁
決ヲ為スニ至リシハ賸トシテ觀ルカ如キナ
リ

第十一章 佛國及ヒ其他歐洲各國ノ
海上裁判權ノ事

抑々佛國ニ於テハ航海上ニ関スル法例ヲ以テ
最モ貴重ナルモノトシ該國ノ最モ賢明ナル政
事家皇帝等ハ数百年ノ間始終能ク其意ヲ航海
律上ニ注キシヨリ終ニ海上裁判所ヲ以テ主任
トシ最モ賢明ナル判事等ヲシテ一ノ海上律ヲ
編成セシメレカ此海上律タルヤ他ノ各國ニ於
ケルモノニ比スレハ最モ完全ナルモノナリ是
主トシテ當時最モ碩学ナル法学士等ノ在ル

リテ當事ノ政事家ヲ獎勵誘導シテ始終其意
ヲ海上貿易上ノ利益ニ注カシメシニ依ルモノ
トスケレラツク氏曰ク佛國ノ海上律ハ最モ
効力ノ大ナルモノニシテ歐洲各國ニ於テハ王
國ト共和國トヲ問ハス共ニ争ツテ或ハ之レニ
模擬シ或ハ之ヲ收用セシヨリ歐洲一般ノ法律
ト爲リ總テ耶蘇教ヲ信奉スル歐洲ノ各國ニ於
テハ之ヲ以テ一般ノ海上律トシテ遵守スルノ
ミナラス尚ホ且羅馬法及ヒ地中海ノ習慣等ニ
モ亦能ク造スルモノナリト然シテ此海上律ハ
斯ノ如ク其効力ノ廣大ナルニ至リシヨリ世人
之ヲ稱シテ万国一般ノ航海律ノ一部トス(該國
ノ海上律第二章第一條ニ條及ヒケレラツク

氏海上裁判權ニ関スル慣例慣法論ノ三百十六葉等ヲ參觀スヘシ

佛國ノ海上裁判所ノ裁判權ハ其權限最モ廣大ニシテ最モ有益ナルモノニ係レリ即チ該國ノ海上律ニ曰ク

海上裁判所ノ判事ハ總テ資格身位ノ如何ヲ問ハス内國人間又ハ佛國人ト外國人トノ間ノ訴訟其他總テ船舶ノ建造、船具、器具、機裝、供給、警守等ニ関スル討求答弁等ノ裁判權ヲ有ス可シ

總テ雇船ノ契約、船舶ノ雇入、積荷証、船賃、船負ノ雇入并ニ其給料、船長ノ其船舶ヲ管理スル間ニ為シタル命令ニ依テ其船舶ニ供給セ

シ食料及ヒ保険証、船書、入貨ノ義務其他總テ海上貿易上ノ契約等ニ関スル訴訟ハ如何ナル訴訟ハ如何ナル裁所ノ權内ニ屬スルニ関セス海上裁判所ノ判事ニ於テ其裁判權ヲ有ス可シ(但シ本条及ヒ本条以下ノ三条ハ該國ノ海上律中ノ第二章第一條二條等ノ裁判權ニ関スル條款ヲ反訳セシモノニ係ル請フ之ヲ諒セヨ)

又海上裁判所ノ判事ハ海上ノ收奪物、破船物、海岸ニ棄置ケタル船舶、投荷、共擔ノ損失、船舶、船貨等ノ損害、其他海上ニ於テ死去セル者ノ船中ニ遺留セル物品ノ發見、交附等ニ関スル裁判權モ亦之ヲ有ス可シ

又ハ免許税十分三税十分一税海上標号税碇
 泊税其他水師提督ニ属スル收税及ヒ貴族或
 ハ其他海上ニ接近スル相当ナル者ノ漁獵或
 ハ魚類又ハ港外ニ輸出シ若クハ港内ニ輸入
 スル物品或ハ其船舶等ヨリ徴收シ若クハ要
 求ス可キ收税等ニ関スル裁判權ヲモ之ヲ有
 ス可シ
 其他海上湖水及ヒ河川ノ源流内ノ魚類或ハ
 遊獵場漁獵等ニ関スル裁判權モ亦海上裁判
 所ノ判事ニ属ス可ク又ハ漁獵網及ヒ海濱海
 岸小舟港等ニ於ケル魚類ノ賣買等ニ関スル
 裁判權ヲモ之ヲ有スヘシ
 又海上裁判所ノ判事ハ海岸ニ於テ加ヘザル

モノト又ハ航海ヲ為シ得可キ河川内ニ於テ
 加ヘタルモノトヲ問ハス船舶ヲ以テ漁獵ニ
 加ヘタル損害又ハ船舶ノ受ケタル損害等ニ
 関スル裁判權ヲモ之ヲ有ス可ク又ハ海上ヨ
 リ入来スル船舶ヲ挽拽スル為メ定メタル通
 路ニ関スル裁判權ヲモ若シ別段ノ規則若ク
 ハ別ニ其裁判權ヲ有スル者アラサルニ於テ
 ハ亦之ヲ有ス可シ
 又ハ暗礁提柵波防ノ石壁其他激浪ヲ防禦ス
 ル為メ建築シタル工事ニ加ヘタル損害ノ裁
 判權ヲモ之ヲ有ス可シ但シ諸港通路等ノ水
 深ヲ保存シテ常ニ清浄ナラシムルノ注意ヲ
 為ス可シ

又海上裁判所ノ判事ハ溺死人ノ死体ヲ拾起
 ス可ク又ハ海上沙漠或ハ港内ニ於テ登頭セ
 レ屍骸或ハ航海ヲ為シ得ヘキ河川内ヲ航行
 スル航海者ノ溺死人等ノ景状ノ調査ヲ造ル可
 シ
 又海上裁判所ノ判事ハ海上監守兵ニ供ス可
 キ郡邑ノ住民ノ検査ニ列シテ其検査ニ付生
 スル総テノ異論ヲ裁決ス可ク又ハ此等監守
 兵ノ其監守ヲ為ス間其海岸ノ監守ニ付犯シ
 タル犯罪モ亦其裁判権ヲ有スヘシ
 又ハ海賊強盜船負ノ遺棄其他海上海岸港内
 海濱等ニ於テ犯シタル諸般ノ犯罪等モ亦其
 裁判権ヲ有スヘシ(該國ノ海上律第ニ章ノ第

一條ニ條ト及ヒクレーラツク氏ノ水師提督
 ノ海上裁判権ニ関スル習慣法海上裁判権論
 ノ第三篇中ニ氏ハ往古ヨリノ佛國海上裁判
 権ニ関スル皇帝ノ法例ヲ彙集セシニ依リ該
 書ノ三百十六葉トヲ參觀ス可シ
 蓋シ此等諸種ノ法律制規等ハ我カ憲法創定者
 ノ能ク明知セサリレトナカレ可キニ依リ本章
 ノ標題ヲ論スルニ當テハ尚ホ更ラニ世界中高
 業ノ盛大ナル各國ノ水師提督又ハ海上裁判所
 ノ権内ニ属ヒシ裁判権ヲ講究スルヲ要セス思
 フニ此等各國ニ於ケル裁判権ヲ講究セハ其海
 上律即チ各國ノ法律各中ニ規定セル航海規則
 ハ各々大ニ異ナレモノアル可シト雖モ万国一

般ノ航海律トスル原則規則等ニ至テハ各國共ニ之ヲ採用セザルモノナカレ可シ是レ前既ニ論述セルモノヲ以テ觀ルニ其本國ノ規則中ニ規定セルモノハ他國ニ於ケレモノト異ナリト雖モ一般ノ原則ニ至テハ毫モ異ナルトナキヲ徴スルニ足ル然シテ此等各國ニ於ケル海上律ノ編成方ノ一斑ト海上律ノ諸種ノ起源トヲ讀者ニ表示スル為ノ爰ニ此等各國ニ於ケル海上律ヲ簡草ニ論ヌ可シ

此等各國ニ於ケル海上律ハ或ハ立法官ノ之ヲ制定セルモノアリ或ハ國王ノ法例ヲ以テ規定セルモノアリ或ハ唯ヲ往古ノ有るナル法律各法例等ヨリ採革シテ編輯セシモノアリ或ハ航

海上ノ條件ニ関スル文章論說等ヲ以テ海上ノ法律トシ數年ノ間之ヲ採用セシヨリ唯々此等ノ文章論說等ヲ以テ海上律トスルモノアリ又或ハ始メ船舶ニ関スル人々ノ其自己ノ便宜ノ為メ制定シテ數年ノ間之ヲ採用セシヨリ終ニ一國ノ法律ト為リタル隨意ノ規則ヨリ成ルモノアリ是レハルナス氏ノ大部ナル著書中ニ記載セル所ノモノニシテ氏ハ該書ニ於テ總テ商業ノ盛大ナル各國ノ海上律ヲ蒐集シ各々之ニ歴史上ノ註解ヲ附シテ海上律ノ歴史上ノ捜査ヲ為シ又ハ海上律ノ得失ヲ批評シ及ヒ其目的区域等ヲ討論スル等ノ便益ニ供セリ

ルテスサス氏海上律ヲ參觀スヘシ

ローテアインノ海上律(海律ノ七十六葉七十
八葉及ヒハルテスサマ氏ノ海上律第一

卷ノ二百三十一葉ヲ參觀ス可シ)

此法律ハ海上律ノ最モ往古ノ法律各ニ係リテ
紀元ヨリ殆ト九百年前ニシテソロモンノ治世
ヨリ殆ト七十年ノ後ヲ以テ頒布セシモノナリ
然レテ此法律ノ如キハ自然ノ正理ニ基テ制定
セシモノニシテ往時ノ高貴ノ盛大ナリシ國々
ノ法律ヲ觀ルニ其航海ノ法律中ニ一トシテ
此法律ヲ引用セサルモノナク殊ニ地中海ノ地
方希臘國等ニ於テハ擧ケテ之ヲ採用シ又羅馬
國ニ於テハ全ク之ヲ認可シテ海上律トセリ然
レテジウリアス、シキリサル及ヒラーカスタス

等ノ治世ニ於テ有名ナル法學士タルヲフキリ
アスラベララヒナス等ノ諸氏ハ殊ニ投荷ニ関
ル訴訟ニ付テ之ヲ適用シ又クロイデアスウハ
スパシアントレリ、ビヤニアドリアン及ヒアン
トニナス等ノ諸帝ハ此等ノ法律ヲ認可シテ海
上貿易ニ関スル訴訟ハ總テ此等ノ法律ニ從テ
裁決スヘキヲ命セリ(ブラウシ氏羅馬海上法
律二卷ノ三十葉及ヒケント氏法律注解第三卷
ノ一葉二十一葉ヲ參觀スヘシ)

ゼルサレム王國ノ海上律

此法律ハ第一ノ十字軍ニ於テボイルルロ
ノゴットフレイ氏カホーレリ、シテローラ
ニ後ヲ以テ制定セシモノニ係リテセル
ノサレ

山王國ノ創立以前ヲ以テ日附スルモノアリ(ハ
レテスヤス氏海上律第一卷ノ二百七十五葉ヲ
參觀ス可シ)

コレロニノ裁決書但シラレロニ島ニ於
テ裁決セシヨリ通常之ヲ稱シテヲレ
ロニノ法律ト云フ

此法律ハ英佛兩國ニ於テ數年ノ間互ニ之ヲ制定
ヒシテノ名譽ヲ爭論セシカ共起源ハ最モ往時
ニ係レテ以テ果シテ此等兩國ノ何レニ於テ制
定セシヤハ判然タラス然レニ此法律ノ總テ歐
州各國ノ海上律ノ基礎ト爲リタレトハ世人ノ
共ニ信シテ疑ハサル所ナリ然シテパルテスヤ
ス氏ノ海上律中ニ掲載セシ千四百八十五年ノ

出版ニ係ル往古ノ佛國出版ノ書冊ニ於テハ之
レニ「船長航海者商人及ヒ此等ノ者ノ所行ニ関
スル海上規則」ト云フノ標題ヲ附セシカ是レ全
ク第三世ハンリ帝ノ治世中出版セシ往古ノ
英國出版ノ書冊ニ掲ケシ標題ノ文字ヲ反訳セ
シモノナリ(ブレイン氏海上律百七葉海律百十
六葉百二十葉クレーラツク氏海上律一葉七葉
マレインバーツル氏海上字書ノ附録パルテス
サス氏海上律第一卷ノ二百八十三葉三百二十
三葉ブラウン氏羅馬海上法三十九葉ノীগ氏
往古ノ海上律及ヒボリテヤルコンシウレト
氏海上律第一卷ノ第十八章ヨリ二十七章迄ヲ
參觀ス可シ)

タムノ裁判書又ハミハストカツヤルノ
法律書ニ云フ

此法律ハブラセスニ接近スル海上ノ海岸ニ在
ルヲリストドリアシ、フラングルスノ都府タルダ
ムノ為ノ彼ノラレロシノ法律ヲ反訳セシモノ
ニ係ルヲ判然タリ（パルテスサス氏海上律第一

卷ノ三百七十一葉ヲ参観スヘシ）

アムスタルダムイニチイローセシ及ヒス
タウハロン等ノ習慣法

此法律モ亦多クハ彼ノラレロシノ法律中ヨリ
反訳セシモノニ係リテ之ヲ称シテ「船長高人等
ノ遵守マ可キ海上律」ニ関スル法例ト云フ（パル
テスサス氏海上律第一卷ノ四百五葉ヲ参観ス

可シ）

子エドゥラニツノ海上律（パルテスサス

氏海上律第一卷ノ一葉十九葉及ヒ百

八十五葉ヲ参観スヘシ）

ウヰスベリノ法律

ウヰスベリハゴランダノ諸島中五百四年前
 ニ在ラハ歐洲北部ノ最モ航海商業ノ盛大ナル
 場所タリ然レテ其航海上ノ法律昏ハ当時之ヲ
 称シラウヰスベリノ往古ノ最上海上律ト云ヒ
 又ハ商人船長ノ制定セルゴースラントノ海上
 律トモ云フ(ブラウン氏羅馬海上律第二卷ノ三十
 九葉ハルジヌサス氏海上律第一卷ノ四百二十
 四葉四百六十三葉海律百七十四葉クレイツ
 ヲ氏海上律百三十六葉百三十九葉四百六十三
 葉五百二十四葉マレーン、ペーター氏海上字昏
 ノ附録ノイグ氏往古ノ海上律及ヒポリーヤル、
 コンシウレート氏海上律第一卷ノ第二十一章

ヨリ二十七章迄ヲ參觀ス可シ

海上領事昏

爰ニグローリアス氏ノ記載スル所ニ拠ルニ領事ハ日耳曼ノ希臘皇帝佛蘭西西班牙シリアサイプラスマジョルカ等ノ王国及ヒウヘニスゼノア等ノ共和国ニ於テ各々諸種ノ法例ヲ以テ之ヲ設ケシモノトス
但シ千五百三十九年ヲ以テウヘニスニ於テ出版セシ伊太利出版ノ昏冊ニ於テハ之ニ航海商業上ノ条件ニ関スル法律法例等ヲ蒐集シテ新クニ校正印行シタル領事ノ昏冊ナル標題ヲ附セリ是レバルデサス氏ノ海上律中ニ記載スル所ナリ

海上業内昏

此昏ハ往古ノ昏冊ニ係リテ之レニ商面及ヒ其他海上ニ輸出スル物品ニ関スル業内ナル標題ヲ附シテローニンノ商人等ノ使用ニ供スル為メ佛蘭西語ヲ以テ記載セシモノナリ然シテ此昏冊ハ蓋シ海上保険ノ法律ヲ記載セルモノニ係ルヲ判然タリト虫モクレイック氏ノ記載スル所ニ依レハ此昏冊ハ最も完備ナルモノニシテ昏中保険ノ契約ヲ論セシ部内ニ於テハ海上ノ契約ヨリ海上貿易等ニ関スル条件ニ至ル迄總テ之ヲ掲載セシモノトス但シ此昏冊ハ其効力ノ最も強大ナルモノナリ
海上律第二卷ノ三百六十九葉三百七十七葉ク

レーラツク氏海上律百八十一葉及ヒブラウン
氏羅馬海上律第二卷ノ四十一葉等ヲ參觀ス可
シ

會盟都府ノ法律

千二百五十四年ヲ以テ日耳曼ノブランズウツ
クダントジツクコロク子再後フラインダルスノ
ブルークリス英吉利ノ倫頓魯西亞ノノウラゴロ
ツドラインノ主タル都府及ヒ其他ノ歐羅巴州
ノ都府等ノ加入シテ相共ニ此等ノ場所ニ於テ
ル商業上ノ便益ヲ保護改進スル為メ海上會盟
ノ如キモノヲ設立シテ後千五百九十七年ヲ以
テ曾テ此等ノ會盟都府及ヒ其他ノ都府共ニ歐
羅巴各國ノ諸種ノ法律中ニ設ケアリシ規則

ヲ蒐集シ之ヲ簡單ノ條款ニ減縮シテ一ノ最モ
貴重ナル海上律ノ法律各ヲ編成セリ
此法律各ハバルテス瓦斯氏海上律第三卷ノ四
百三十一葉四百五十五葉ノリック氏往古ノ海上
律ブラウン氏羅馬海上律三十九葉ケント氏法
律注解第三卷ノ一葉十二葉クレーラツク氏海
上律百五十七葉百六十六葉マール氏海上字
彙ノ附録及ヒ海律百九十葉百九十五葉等ニ掲
載スルヲ以テ宜シク就テ參觀ス可シ
前諸項中ニ記載セルモノ、外尚ホ此等ノ時代
前ニ於テ制定編成セシ海上ニ関スル法例及ヒ
其法律各等數多アリ依テ各國各府ニ於テ之ヲ
制定編成セシ順序ニ從ヒ左ニ之ヲ簡單ニ記列

ス即チ

紀元後九百四十年制定

那威ノ海上律

但シハルラスサス氏海上律第三卷ノ一葉及ヒ二十葉ヲ參觀ス可シ

同千六百十三年制定

シシレノ海上律

但シ同氏海上律第五卷ノ二百十四葉及ヒ二百三十七葉ヲ參觀ス可シ

同千百十七年制定

アイスランドノ海上律

但シ同氏海上律第三卷ノ四十五葉五十五葉ヲ參觀ス可シ

同千百五年制定

丁抹ノ海上律

但シ同氏海上律第三卷ノ二百五葉及ヒ二百二十九葉ヲ參觀ス可シ

同千百五十八年制定

ルウーベックノ海上律

但シ同氏海上律第三卷ノ三百九十一葉及ヒ三百九十九葉ヲ參觀ス可シ

同千百六十年制定

ゴサア及ヒフロレンスノ海上律

但シ同氏海上律第四卷ノ五百四十五葉及ヒ五百六十九葉ヲ參觀ス可シ

同千二百二十四年制定

字漏西諸州ノ海上律

但ト同氏海上律第三卷ノ四百四十七条
及、四百五十九条ヲ參觀ス可シ

同千二百三十二年制定

ウハニス及、ヲリストリアノ海上律

但シ同氏海上律第五卷ノ一条ヲ參觀ス
可シ

同千二百四十三年制定

カタロニアラウゴンツアレニス及、マジヨ
ルカ等ノ海上律

但シ同氏海上律第五卷ノ三百二十一
及、三百三十三条ヲ參觀ス可シ

同千二百五十四年制定

瑞典ノ海上律

但シ同氏海上律第三卷ノ八十九条及、
百十一條ヲ參觀ス可シ

同千二百七十年制定

ハンバルクノ海上律

但シ同氏海上律第三卷ノ三百二十九条
及、三百三十七条ヲ參觀ス可シ

同千二百七十年制定

魯西亞ノ海上律

但シ同氏海上律第三卷ノ三百九条及、
及、三百十七条ヲ參觀ス可シ

同千三百三年制定

ブレノンノ海上律

但し同氏海上律第三卷ノ三百九葉及
三百十七葉ヲ參觀ス可シ

同千三百三年制定

ベリバル、スラトノ海上律

但し同氏海上律第五卷ノ九十葉及、百

十三葉ヲ參觀ス可シ

同千三百十六年制定

ゼノアノ海上律

但し同氏海上律第五卷ノ四百十九葉及

四百三十九葉ヲ參觀ス可シ

同千三百十六年制定

サルデニアノ海上律

但し同氏海上律第五卷ノ二百六十七葉

及、二百八十一葉ヲ參觀ス可シ

第十二章 海上及、航海ノ兩語ノ意

義ノ事

前章中英吉利帝國、各所領域ノ合衆國ノ祖先

ノ諸州及、歐羅巴各國等ノ海上航海ノ裁判

權ヲ論スルニ當リ前既ニ論述セル如ク海上航

海上ノ訴訟ハ其種類数多アリテ總テ船舶船積

等ニ関スル訴訟ハ各国共ニ之、海上ノ訴訟中ニ

属サ、ルモノナク然レテ此等数多ノ種類ノ訴

訟中英吉利ノ海上裁判所ニ於テハ未國革命ノ

時ニ當リハ唯テ其要件ノ外其裁判權ヲ有

セスト魚モ蘇格蘭ノ海上裁判所英國殖民地ノ

海上裁判所及、英國ノ往古ノ海上裁判所等ニ

於テハ尚ホ一層廣大ナル裁判権ヲ有シ殊ニ佛
國ノ海上裁判所其他歐洲諸國ノ海上裁判所等
ニ於ケル裁判権ハ尚ホ之レヨリ一層廣大ナル
モノニシテ我カ憲法ヲ以テ海上航海上ノ裁判
権内ニ屬スル總テノ訴訟ノ裁判権ヲ大政府ニ
允許スルニ當ラハ蓋シ憲法制定ノ時ヲ以テ此
等各國ニ於ケル裁判権ノ廣狹種類等ヲ挙ケテ
之ヲ論究セシハ毫モ疑ヒヨ容レサルヲ論セシ
カ若シ當時此等諸種ノ裁判権中之ヲ我カ憲法
上ニ收用セントセシモノアリシニ於テハ其裁
判権ヲ規定スルカ若クハ其他某方法ヲ以テ之
ヲ指示セサルノ理ナカル可ク若シ又否ラスレ
バ一モ此等ノ裁判権及ビ其権限ヲ收用セント

スルノ意思アラザリシニ於テハ蓋シ之ヲ國會
ノ決議ニ委任ヤレトセシテ瞭然タリ然レモ總テ
条件ヲ曖昧ノ間ニ存留スルハ國家ノ欠典タル
カ故ニ憲法上總テノ訴訟云々ヲ以テ廣大ナル
允許ヲ為セシニ外ナラザルナリ
又前章ニ於テ合衆國ト大英國トノ二國ニ於テ
ル法律憲法等ノ共ニ同シキモノハ唯テ共ニ英
語ヲ以テ記載セシモノニ係ルヲノ一事タルニ
過キサルモノニシテ唯テ此一事ノミ此等二國
ノ法律ヲ聯絡スルノ連鎖タルニ依リ我カ憲法
上ニ使用セル言詞ノ意義ヲ講究スルニハ英國
ノ法律ト英國ノ字各トニ依ラザル可カラザル
ヲヲ論セシカ今ヤ若シ此方法ヲ以テ我カ憲法

上ニ允許セル海上航海ノ裁判權ヲ講究スル
時ハ憲法上ノ所謂海上航海ノ兩語ハ海上航海
上ノ裁判權ヲ以テ終生間ノ學業トセシ有名ナ
ル法学家ノ其著書中ニ兩語ヲ列子テ使用セシ
如ク各々共ニ其一定ノ意義アルヲ認知ス可
シ即チ

海上ナル語ハ總テ航海上ノ条件ニ関スル民刑
事上ノ訴訟ノ裁判權ヲ有スル裁判所ヲ示スノ
語ニ係リ又航海ナル語ハ海上航海等ニ関スル
トヲ示スノ語トス

此等兩語ノ意義ニ就テハ讀者宜シク千七百五
十五年ノ出版ニ係ルジョーンソン氏字彙バル
レ一氏字彙ウヘブスドル氏字彙フアルコチル

氏航海字彙コローウヘル氏法律字彙カンニグハ
ム氏法律字彙ベル氏法律及ヒボライウヘル氏
法律字彙等ヲ參觀ス可シ

又海上航海ナル兩語ハ和蘭陀西班牙英吉利
格蘭及ヒ佛蘭西等ノ法律家ノ著書中ニ就テ觀
ル時ハ始終其各中ニ使用スルモノニシテ此等
ノ兩語ハ各々峯々共ニ一定ノ意義ヲ以テ使用
セルヲ認知ス可シ是レニ由テ之ヲ觀レハ我
カ憲法ノ創定者ハ敢テ其意義ヲ明知セサリシ
ノ理ナリ又ハ商業社會ニ於テ各國共ニ數百年
ノ間使用セシ意義ヨリモ一層狹隘ナル意義ヲ
以テ使用セシモノトモ推測スルヲ得ヌ又ハ唯
タ一地方或ハ一国内ニ於ケル意義ヲ以テ使用

セシモノトモ推測ス可キモノニアラス然レテ
英吉利海上航海上ノ訴訟ニ關スル裁判權ヲ行
フヲ禁セウレテ其裁判權ヲ有スルモテハ唯々
数件ノ訴訟ノミニ限リテ其他ノ訴訟ハ法律裁
判所ノ權内ニ屬セウレテノ如キハ毫モ此等
兩語ノ効力意義等ニ影響ヲ及ホスモノニアラ
ズ思フニ我カ祖先ノ賢明ソル何ソ我カ革命ノ
時ニ於テ英吉利海上裁判所ノ權内ニ存留セシ
訴訟ノ如キ賤劣ナル種類ノ訴訟ヲ以テ諸州ニ
委任スルノ危険ナリトシテ之ヲ國家ノ憲法
中ニ包含スルノ必要ナリトシ若クハ國是上
之ヲ國家ノ司法權ニ委任スルノ必要ナリト
思考セシノ理アル可ケンヤ

法律

此等ノ訴訟ハ諸種ノ訴訟中特ニ貴重ナルモノニアラス
又ハ海上航海上ノ數多ノ訴訟中ヨリ特ニ之ヲ區別ス
可キ性質アルモノニモアラス又ハ一般ノ商業上之ヲ區別
スルノ必要タルモノニモアラス又余ヲ以テ觀ルニ時リ此等
ノ訴訟ノミ大政府ニ委任セサル可カラサルノ
理由ナク又ハ之ヲ大政府ニ委任セシトテ推測
スルニ足ル可キ理由アルヲモ余ノ未タ曾テ
聽カサル所ナリ何トナレハ此等訴訟ノ裁判權
ハ英吉利海上裁判所ノ權内ニ屬セシテ以テナ
リ然レテ最モ忠実ナル愛國心ト國家ノ正理上
トヨリシテ觀ル時ハ海上航海上ノ訴訟ハ總テ
諸州ヨリ之ヲ大政府ニ委任セシモノト認定セ
サルヲ得サルナリ

司法

若シ文字学ニ就テ海上航海ノ裁判権ナル言
 詞ノ使用方ヲ講究スル時ハ此等ノ言詞ハ之レ
 ニ水師提督ノ権内ニ属スル裁判権ヨリ其他海
 上ニ於テ若クハ海上ニ関シテ為レタル条件ヨ
 リ生スル航海ノ訴訟ニ関スル裁判権ヲ包含
 スルモノニシテ即チ之ヲ及言スレハ貿易航海
 等ヨリ其他海上若クハ国内ノ航海ヲ為シ得キ河
 流若クハ大洋等ニ於テ加ヘタル損害侵害等ニ
 関スル總テノ処分治理等ヲ包含スルモノニ係ル
 一ヲ認知ス可シ然レテ海上律ノ法律昏及テ法律昏
 ノ注解昏其他航海ノ最モ盛大ナル歐洲各国ノ
 最モ有名ナル法律家ノ著昏等ニ就テ觀ルニ海
 上裁判権ナル言詞ハ挙テ共ニ航海ノ契約条

件等ニ関スル裁判権ヲ有シテ一般ノ海上律ヲ
 施行スル所ノ裁判所ニ通用シ又英國ニ在テハ
 法律裁判所ノ判事ハ前章中ニ論述セル心意ヨ
 リシテ之レヨリ一層狹隘ナル意義ヲ以テ之ヲ
 使用スルト虽モ海上裁判所ニ從事シ又ハ海上
 裁判学ヲ以テ自己ノ学業トセシ有名ナル人々
 ハ常ニ此等ノ言詞ニ尚ホ一層廣大適當ナル意
 義ヲ附セリ然レモ該国ニ於テハ法律裁判所ノ権
 内ニ属スル条件ニ付テハ慣例法上ノ判決ヨリ
 尚ホ優レルモノアラサリシカ故ニ法律裁判所
 ノ判決ハ海上裁判所ノ賢明ナル法律家ノ完全
 善良ナル判決ヨリモ優レルモノトス然リ而シ
 此等言詞ノ至当ナル意義ヲ捜査スルニ及令

英国ニ於ケルト虽モ盖シ此等ノ始終海上裁判
 所ニ尽力シ其裁判權ヲ以テ終生ノ長技ト學業
 トセシ法律家ノ著昏中ニ於ケルモヨリ尚ホ
 至当ノ搜查ヲ為シ能ハサル可シ
 又前章中我カ憲法ハ全ク獨立國ト為リタル時
 ヨリ十二年ノ後ヲ以テ彼ノ會盟茶例ニ從テ制
 定セシモノニ係リ又合衆國政府ハ決シテ大英
 國ノ政府ヨリ分派セルモノニアラス大英國ノ
 政体ハ一モ我カ憲法中ニ規定セルモノナリ唯
 多少其政度ヲ我カ國ノ政度ノ基礎トシテ收用
 セシモノアルニ過キサルヲ論セシカ今ヤ是
 レニ由ラ之ヲ觀ル時ハ彼令英吉利海上裁判所
 即チ英吉利ノ往古ト現今トノ殖民地ノ海上裁

判所及ヒ蘇格蘭殖民地ノ海上裁判所等ニ於ケ
 ル裁判權ノ何所ニ在ラモ始終同一ナリト虽
 モ尚ホ憲法上彼ノ總ラノ海上航海上ノ訴訟ニ
 關スル裁判權ヲ允許セルモノハ理論上總ラノ
 訴訟ニアラスレテ唯タ一國內ノ甲裁判所ヨリ
 國是ノ為メ乙裁判所ノ權内ニ屬セシ訴訟ノ
 ヲ示スモノト解釈スルヲ得ス若シ果シテ英國
 ノ裁判所ニ模擬シテ我カ海上裁判所ノ裁判權
 ヲ規定スルモノトスルモ盖シ其裁判所ノ殖民地
 ニ於ケル裁判所ニ外ナラサルモノニシテ此等
 ノ裁判所ニ其委任狀中ニ詳細記列セル如ク最
 モ廣大ナル裁判權ヲ有セシモノナリ

第十三章

陪審訊問慣例法上ノ訴訟

人権ニ関スル訴訟及ヒ貿易等ノ事
我カ憲法ノ第六及ヒ第七ノ改正条列ハ專ラ之
ヲ以テ陪審訊問ヲ受ケルノ権利ヲ保護スルモ
ノニ係ルヨリ此等ノ条列ヲ以テ憲法上ノ一般
ノ允許ヲ制限スルノ効カアルヲ論セシ者徃
々之レアリ然レテ其理由トスル所ハ他ナシ海
上裁判所ニ於テハ通常陪審ノ訊問ヲ用ヒス裁
判所ノミニテ訴訟ヲ裁決スルモトスルニ在
リ元來「教多ノ訴訟ニ於テ陪審訊問ノ使益ヲ收
奪セラレシ」トハ獨立ノ公告中ニ壓制ノ一事
トシテ記載セル所ノモノニシテ實ニ陪審訊問
ハ米国人ノ利益ヲ供シ米国人ノ大
ニ注意ヤシモ、ニ係リテ之ヲ收奪セラレシ

ハ米国人ノ共ニ切齒シテ傍觀セシモノナリ
故ニ之ヲ受ケルノ權利ハ各州共ニ其憲法中ニ
規定シテ之ヲ保護スルト雖モ合衆国大政府ノ
憲法中ニハ斯ル保護ノ明文アラサリシヲ以テ
大ニ世人ノ論スル所ト為リ公衆共ニ之ヲ以テ
一大欠典トセシヨリ終ニ其憲法ニ左ノ言詞ヲ
以テ第六第七ノ改正条列ヲ附加セリ即チ
(第六) 總テ刑事上ノ訴訟ニ於テハ被告人
ハ其犯罪アリタル州若クハ地方ノ公平ナ
ル陪審ノ迅速公正ナル訊問ヲ受ケルノ權
アル可シ但シ其陪審ヲ召集ス可キ地方ハ
豫メ法律ヲ以テ之ヲ定ム可シ
(第七) 又争訟ニ係ル物件ノ價額二十弗以

上ニ上ル慣例法上ノ訴訟ハ若シ原被告人
ノ中ヨリ求メテ為スニ於テハ亦之ヲ陪審
ノ訊問ニ附ス可ク然レテ陪審ノ一ツハ訊
問セル事實ハ苟クモ慣例法上ノ規則ニ從
テ訊問スルニテサルヨリハ合衆國中ノ
如何ナル裁判所ニ於テモ更テニ其訊問ヲ
為ス可カラス

又有名ナル法律家中ニハ此等ノ条例ヲ以テ我
カ司法上ノ制度ノ創定ヨリシテ擴張セシヨリ
ハ及テ海上裁判所ノ裁判權ヲ制限セルモノト
看做ス可キトテ主張セシ者アリト雖モ余ヲ以
テ觀ルニ此等ノ條件ハ之ヲ以テ毫モ海上裁判
所ノ裁判權上ニ影響ヲ及ホセシモノアルヲ知

ラヌ元來此等ノ条例中其第六ノ改正条例ハ明
クニ合衆国内ノ諸州若クハ地方内ニ於テ犯シ
タル犯罪ノ訴訟ノミニ限レルカ故ニ之ヲ以テ
觀ル時ハ特ニ海上裁判所ノ權内ニ屬スル大洋
ニ於テ犯シタル犯罪ノ如キハ未タ以テ此条例
ヲ及ホシ能ハサル可シ若シ果シテ此等ノ訴訟
ニ至ル迄及ホスモノトセルニ於テハ曾テ國會
ニ於テ制定シ又ハ英國ノ議事院ニ於テモ制定
セル如ク法律ヲ以テ海上裁判所ニ於ケル海上
ノ犯罪ハ之ヲ陪審ノ訊問ニ附ス可キトテ定メ
サル可カラス
又其第七ノ改正条例ハ全ク慣例法上ノ訴訟ニ
限レルモノニシテ衡平法上ノ訴訟又ハ海上航

海上ノ裁判権内ニ属スル訴訟等ノ如キハ其中ニ包含スルモノニアラス
思フニ人民ノ此憲法上ノ又典ノ下ニ在リテ未ク其議論ノ微弱ナル間ニ在テハ憲法上陪審ノ訊問ニ附ス可キヲ定ムルノ必要ナリトセシモノハ合衆国地方ノ境界内ニ於テ犯罪ト慣例法上トノ訴訟トニ限リテ海上ニ関スル訴訟ノ如キ全ク特別ナル処分ノ裁判権ハ往古ヨリ各国ニ於ケル如ク唯ク能ク其治理上ノ原則ニ通シ潤奥ヲ極メテ判事ノミニ委任ス可キカ又ハ唯ク土地ノ習慣ト適宜トノミニ外明知セサル陪審ノ不確定ナル判定ニ委任ス可キヤハ全ク國會ノ決議ニ附セシトセシハ敢テ疑ヒ

ヲ容レサル所ナリ故ニ國會ニ於テハ海上ノ犯罪ハ之ヲ陪審ノ訊問ニ附ス可シト雖モ海上ニ関スル民事ノ訴訟ハ其事實法律共ニ裁判所ニ於テ裁判ス可キヲ決定セリ
如何ナル裁判所ニ於テ訴訟ノ裁判権ヲ有スルヤ又ハ如何ナル訴訟ハ大政府ノ司法権内ニ属スルヤ否ヤノ問題ハ全ク裁判所ニ於テ因テ以テ裁判ヲ為ス可キ所ノ方法ニ関スル問題ト異ナルモノニシテ敢テ本章ノ関スル所ニアラス然レテ今ヤ彼令國會ヨリ總テ合衆国ノ裁判所ニ於ケル訴訟ハ之ヲ陪審ノ訊問ニ附ス可キヲ法律ヲ頒布スルモ之レカ為ノ毫モ此等裁判所ノ裁判権ヲ变换増減スルヲナカル可ク又ハ

大政府は允許セルモノニモ影響ヲ及ホリ、ル
可シ是レ地方裁判所ハ裁判権ヲ委任セシ司法
律ノ第九条ヲ想起スル時ハ容易ク之ヲ免知ス
可シ即チ該条ノ末項ニ曰ク地方裁判所ニ於テ
ル訴訟ハ海上航海上ノ裁判権内ニ属スル民事
ノ訴訟ヲ除クノ外総テ其事實ノ結案ヲ陪審ノ
訊問ニ附ス可シト若レ此例外アラザリシニ於
テハ海上航海上ノ訴訟モ亦之ヲ陪審ノ訊問ニ
附ス可キハ論ヲ待タスト虽モ其裁判権ニ至ラ
ハ之レカ为ノ毫モ变换スルコトナカル可シ但シ
諸州ノ海上裁判所中ニハ總テノ訴訟ヲ陪審ノ
訊問ニ附セシモノ之レアリ
憲法ノ第七ノ改正条例中ニ所謂慣例法上ノ訴

訟ナル一句モ亦之レカ为ノ海上裁判所ノ裁判
権中米國革命ノ時ニ於テ英國ニ在ラハ該國ノ
海上裁判所ノ権内ニ属サスレテ全ク法律裁判
所ト提起セサル可カラザリレ此等ノ訴訟ニ関
スル裁判権ニ對シテ抗論ヲ和ケリ然レテ此抗
論タルヤベリンス氏ヨリゼーラムス、サリン号ノ
船舶ニ對スル訴訟ニ於テ輓近ノ判事バルドウ
井ン氏ハ第一ニ之ヲ主張セシモノ、如シ
元來憲法上合衆國ノ司法権内ニ委任セシ訴訟
ハ之ヲ分ツテ二種トス甲種ノ訴訟ハ裁判権ノ
主ツルモノニ関スルモノニ係リ乙種ノ訴訟ハ
訴訟ノ手續ニ関スルモノナリ然レテ裁判権ノ
主ツルモノニ関スル訴訟ハ後々之ヲ大別シテ

左ノ四種トス即チ(第一)總テ合衆國ノ憲法法律
及ヒ条約上ヨリ生スル法律衡平ニ法上ノ各種
ノ訴訟是レ合衆國ノ其自國ノ法律ヲ執行スル
ニ欠ク可カラサルノ裁判權ナリトス(第二)特命
全權公使及ヒ其他ノ公使領事等ニ對スル訴訟是
レ合衆國ノ大政府ニ於テ外國ノ交際ヲ規定シ
且其交際上ノ代理者ヲ保護シテ公平ノ裁判ヲ
得セシムルニハ最モ欠ク可カラサルモノナリ
トス(第三)海上航海上ノ裁判權内ニ属スル總テ
ノ訴訟是レ大政府ニ於テ國家ノ法律ノ一部ヲ
ル海上航海律即チ總テ航海ノ事務ニ從事シ又
ハ國家ノ公道タル航海ヲ爲シ得可キ河流上ニ
於テ營業ヲ爲ス者ノ權利責任等ヲ規定スル所

ノ法律ヲ管理スルニ欠ク可カラサルモノナリ
トス(第四)甲乙二州ノ人民間ノ争訟是レ一州ノ
傲慢或ハ利益ヨリシテ州裁判所ノ裁決ニ影響
ヲ及ホシ爲ノニ國家ノ害ト爲ルカ如キ際ニ在
テ公平至當ノ裁判ヲ得セシムル爲メ欠ク可カ
ラサルモノナリトス但シ此甲種ノ訴訟ハ其裁
判權ノ苟クモ主タルモノニ係ルニ於テハ全ソ
裁判權ニ関スルモトス
又乙種ノ訴訟ハ全ク裁判權ニ関スルモトス
ラズシテ單ニ訴訟ノ手續ニ関スルモノナリ然
レテ之ヲ分ツテ慣例法ノ訴訟、衡平法上ノ訴訟
及ヒ海上航海上ノ訴訟ノ三種トシ此等ノ三種
ハ各々總テ各種ノ訴訟ヲ包含スルモトス即

司
法
省

予慣例法上ノ訴訟ハ法律裁判所ニ提起ス
合法ノ権利責任又ハ犯罪ヲ証明ス可キ訴訟ヲ
示スモノニ係リ衡平法上ノ訴訟トハ衡平法上
ノ裁判權ト手續トヲ行フ所ノ裁判所ニ提起シ
テ衡平法上ノ権利責任等ヲ証明ス可キ訴訟ヲ
示スモノニ係リ又海上航海上ノ訴訟トハ海上
ニ屬スル航海上ノ裁判權ヲ有スル裁判所ノ裁判權内
ニ屬スル航海上ノ権利責任又ハ犯罪等ニ関ス
ル訴訟ヲ示スモノトス
此等ノ裁判所ニ於テハ各々其合法ノ規則ト訴
訟ノ手續トアルヲ故ニ法律上ノ訴訟ト衡平法
上トノ訴訟ト海上裁判所ノ訴訟トハ互ニ相異
ナルモノナリ然リト雖モ正実ノ討求ハ如何ナ

ル種類ノ裁判所ニ在テモ亦争訟ノ条件タラザ
ルノ理ナカル可ク例ハ航海者ノ給料ニ関ス
ル討求ハ之ヲ法律裁判所ニ告訴スルヲ得可ク
然ル時ハ其訴訟ハ慣例法上ノ訴訟ニ屬シテ其
訴訟ヲ受ケタル裁判所ヲ管理スル規則ニ從テ
之ヲ裁決ス可シ又ハ若シ祭頭或ハ差押等ノ必
要ナル時若シハ受托人ノ仲裁ニ依ラハ同一ノ
討求ヲ衡平法上ノ裁判權ヲ有スル裁判所ニ告
訴スルモ敢テ妨ケナカル可ク然ル時ハ其訴訟
ハ衡平法上ノ訴訟ニ屬スルカ故ニ之ニ該裁
判所ノ訴訟手續ヲ適用セサル可カラス又ハ其
討求ノ訴訟ヲ最モ通常ニシテ且至当ノ裁廳ヲ
ル海上裁判所トモ亦提起スルヲ得可ク然ル時

同
法
省

ハ海上裁判所ノ手續ニ從テ之ヲ裁決ス可キモノ
 トス然レテ憲法上ニ於テハ一モ如何ナル訴訟
 ハ何レノ裁判所ニ提起ス可ク又ハ如何ナルモ
 ハ如何ナル訴訟ノ種類ニ屬ス可キヲ規定
 スルノ明文ナリ此判別ハ全ク裁判所ノ権内ニ
 存留スルモノニシテ裁判所ニ於テ訴訟手續上
 ノ規則ト及ビ彼ノ總テ刑事上ノ訴訟ニ法律
 裁判所ニ於ケル二十弗以上ノ訴訟ハ之ヲ陪審
 ノ訊問ニ附ス可キヲ規定スル憲法ノ第六第
 七ノ改正條例トニ從テ判定ス可キモノナ
 リ
 又憲法上唯々總テノ犯罪ハ之ヲ陪審ノ訊問ニ
 附ス可ク又訴訟ノ價額二十磅以上ノ慣例法上

ノ訴訟ハ若シ原被告人ヨリ求メテ為スニ於テ
 ハ亦之ヲ陪審ノ訊問ニ附ス可キヲ規定シテ
 其規則中ニ海上航海ノ訴訟及衡平法上ノ訴
 訟等ヲ記漏スルヲ以テ觀レハ此等ノ訴訟ハ其
 中ニ包含セシテ彼ノ第七ノ改正條件ハ全ク
 衡平法上ノ訴訟ト海上裁判所ニ於ケル訴訟ト
 ヲ除クノ外總テ其他ノ訴訟ニ於テハ原被告人
 ヲ求メテ為スニ於テハ陪審ノ訊問
 ヲ受クルノ権アルヲ規定スルモノニ係ルヲ
 ヲ徴スルニ足ルモノナリ
 曾テベリンズ氏ヨリゼーナムスカサリン号ニ於
 スル訴訟ニ於テ博學ナル判事ハ憲法ト國會ノ
 決議トノ區別ト及ビ訴訟ノ手續ト裁判權ニ関

スル法律トノ差違ヲ論究セシカ今其説ニ拠ル
ニ合衆国ノ司法権ノ権限區成等ハ憲法ヲ以テ
規定セルモノニシテ又憲法ハ國會ノ権カヨリ
モ其効力ノ強大ナルモノニ係リテ得テ之ヲ動
カス可キモノニアラス然レモ其権カヲ行フノ
方法、裁判所ノ構成及ヒ訴訟ノ手續等ニ至テハ
全ク國會ノ決議ヲ以テ規定セルモノニシテ此
等ハ国家ノ立法官ノ所好ニ依テ之ヲ變換シ又
ハ廢棄スルヲ得可ク故ニ立法官ハ何時ニ依テ
ス總テ海上航海上ノ裁判権内ニ屬スル訴訟ハ
之ヲ陪審ノ訊問ニ附ス可キヲ規定スルヲ得
可シ然レモ其裁判所ハ之レカ爲メ毫モ變換ス
ルヲナカル可シトス

又爰ニ訴訟ノ判決録ニ拠ルニ海上裁判所ニ於
テハ物権ニ関スル訴訟ノ裁判権ヲ有ス可シト
スモ人權ニ関スル訴訟ノ裁判権ハ之ヲ有セザ
ルヲ論説ヲ主張セシト代理人ノ往々之レアル
ノミナラス尚ホ且判事タル者モ亦斯ル論説ヲ
主張セシモノ少カラズ又ハ海上裁判所ノ権内
ニ屬スル裁判権ハ唯テ物権ニ関スルモノニ
ニ限リ若クハ及令人權ニ関スル裁判権ヲモ有
スルモノトスルモ其権内ニ屬スルモノハ實ニ
稀少ニシテ唯テ物権ニ関スル裁判権ニ附屬ス
ルモノニ過キサルヲ主張セシ者モ亦少ナラ
ズ然レモ爰ニ判決例ノ最モ通常ノ簿冊ニ拠ル
ニ往古ニ在テハ海上裁判所ニ於ケル訴訟ハ強

トシテ人権ニ関スルモノニアラサルナク人権ニ関スル訴訟ハ海上裁判所ニ於ケル
 通常ノ訴訟ニシテ船舶ノ如キハ苟クモ船主或ハ船長ノ不在タルカ若クハ
 其訴訟ノ唯々船舶ノ免許ニ関スル時ニアラサ
 ルヨリハ敢テ之ヲ差押ユルヲ以テ必要ナリト
 セサリキ元來物権ニ関スル訴訟ト人権ニ関
 ル訴訟トノ區別ハ其裁判権ノ有無ノ問題ニ関
 スルモノニアラサス若シ訴訟ノ条件ノ苟クモ航
 海者ノ給料或ハ船賃或ハ船昏入質等ニ係ルニ
 於テハ其裁判権ハ海上裁判所ノ権内ニ属スル
 モノニシテ該裁判所ニ於テ法律上收復ヲ受ク
 ルノ権アル者ヲシテ之ヲ得セシムルニ当テハ
 該裁判所ノ為メ定メタル方法ヲ運用スルヲ得
 可ク又其訴訟ノ裁決ニ依リ一方ノ者ヨリ他ノ

一方ノ者ニ對シテ責任ヲ尽ス可キ時ハ裁判所
 ニ於テ其責任アル一方ノ者ノ身体ニ對シ又ハ
 其財産ノ一部若クハ全部ニ為シテ其裁決ヲ執
 行スルヲ得可シ若シ又訴訟ノ条件ノ船舶船賃
 船賃或ハ此等ノ所得或ハ其所得ノ残余等ノ差
 押ヲ討求スル者ニ係ル時ハ裁判所ニ於テ物権
 ニ関スル訴訟ヲ以テ其差押ヲ為サシメ又ハ尚
 ホ継続シテ其差押ヲ為スヲ允許シ又ハ被告
 人ヲシテ原告人ノ討求スル金高ヲ弁償セシム
 ルヲ得可シ總テ斯ル際ニ在テハ其裁判所ノ前
 ニ於ケル問題ハ裁判所ニ於テ裁判権ヲ有スル
 ヤ否ヤニアラサシテ全ク原告人ノ権利アルト
 否トニ在リ故ニ其問題ハ弁論上ノ疑問ニアラ

スシテ全ク訴訟ノ勝敗ニ関スルモノナリ是ヲ以テ若シ訴訟ノ条件ノ苟クモ海上裁判所ノ権内ニ属スル航海上ノ訴訟ニ係ルニ於テハ其裁判權ハ人ノ身体ニ関スルモノト船舶ニ関スルモノトヲ併セテ始メテ完備スルモノトナリ何トナレハ裁ス否ラサル可カラサルモノナリ何トナレハ裁判所ニ於テ若シ契約ニ関スル裁判權ヲ有スル時ハ得テ其契約ニ付テノミ收復ヲ得セシム可キモノニアラサルヲ以テナリ

又海上裁判所ニ於テハ苟クモ裁判權ノ慣例法上ニ属スル訴訟ハ總テ其裁判權ヲ有セサルヲ論セシ者往々之レアリ實ニ前章中ニモ論述セル如ク英國ニ於テ其海上裁判所ノ裁判權ヲ

減殺セシハ主トシテ斯ル規則ヲ以テセシモノナリ元來該國ノ海上裁判所ノ権内ニ属セシ裁判權ハ殊ニ海上ニ於テ起ル所ノ航海上ニ関スルモノニアラサル外國人トノ間ニ於ケル訴訟ニ至ル迄其権内ニ属シ然レテ該裁判所ニ於テ斯ル裁判權ヲ有スル所以ノ理由トスル所ハ法律裁判所ニ於テハ總テ訴訟ノ事實ヲ挙ケテ各々英國ノ地方内ニ於テ起リタルヲ弁論中ニ証明セサル可カラサルニ依リ慣例法該裁判所ノ権内ニ属スル裁判權ハ唯々本国ノ地方内ニ於テ起リタル条件ノミニ限レルモノトスルニ在リ斯ル論說ノ行ハレシ間ハ苟クモ海上ニ於テ起リタル条件ニ関スル訴訟ハ法律裁判所ニ

於テ其審問ヲ為スヲ得ザリシハ毫モ疑ヒテ容
 レサル所ナリ然レモ歲月ノ變遷ニ乘シテ法律
 裁判所ニ於テハ訴訟ノ条件ノ生スル場所ノ如
 何ヲ不用ナリト主張セシモ取テ之レニ抵抗ス
 ル者ナリ是レヨリ尔来詐偽ノ地名ヲ用ヒ然レ
 テ總テ訴訟ニ於ケル事實ハウヘストミコスリ
 ルニ於テ起リシコトヲ以テ証明スルニ至リシヨ
 リ法律裁判所ニ於テハ海上裁判所ノ裁判權ヲ
 擯却シテ之ヲ無用ノ長物ナリトセリ加之唯
 訴訟ノ条件ノ海上ニ於テ起リタルコトヲ陳供ス
 ル(航海)ニ関セサル訴訟ニ於テノミ為ス可キ
 地方ノ内外ニ関スル搜查ヲ援引シテ英國ノ海
 峽内ニ於テ起リタル航海ニ関スル訴訟ニ至

ル迄斯ル搜查ヲ為セシヨリ終ニ慣例法收復ヲ
 得セシメ又ハ法律裁判所ニ於テ容易ク関涉ス
 ルヲ得可キ訴訟ハ總テ海上裁判所ノ権内ニ屬
 サルモノト思維スルニ至レリ是レニ由テ之ヲ
 觀レハ苟クモ慣例法上ノ訴訟ニ屬スルヲ得可
 キ訴訟ハ海上裁判所ニ於テ其審問ヲ為ス可キ
 モノニ係ルコトヲ爭論スル者ナリ尔来航海者ノ
 給料ヲ始メ其他海上裁判所ノ権内ニ屬セシ訴
 訟ハ殆ト一トシテ法律裁判所ニ提起シ能ハサ
 ルモノアラサルカ故ニ若シ論者ノ如キ解説ヲ
 為ス時ハ終ニハ該國ニ於ケル海上裁判所ノ裁
 判權ヲシラ之ヲ廢絶シ我カ憲法上ニ允許セル
 モノヲシラ全ク無効廢物ニ屬サシムルニ至ル

可シ
 又米國ニ在テハ湖水、河川、曲海、港等ニ於ケル訴
 訟ハ此等海岸ノ法律裁判所ニ於テ容易ク之レ
 ニ関涉シテ至当ノ收獲ヲ得セシメ得ルカ故ニ
 此等ノ訴訟ハ海上航海ノ裁判権内ニ屬サハ
 ルヲ論セシモノアリト虽モ前章ニモ論セル
 如ク若シ海上航海ノ裁判権ヲ奉ケテ之ヲ大
 政府ニ委任セシム全ク国家ト万国トノ便益ノ
 為メニシテ取テ慣例法上ノ欠缺ヲ補充スル為
 ナニアラス又ハ一層廣大ナル裁判権ヲ設クル
 為メニモアラスナルノ果シテ真実タルニ於テ
 ハ此論説モ亦全ク詐偽ヲラサル可カラサルノ
 ミナラス殊ニ合衆國ノ裁判所ナルモノハ同時

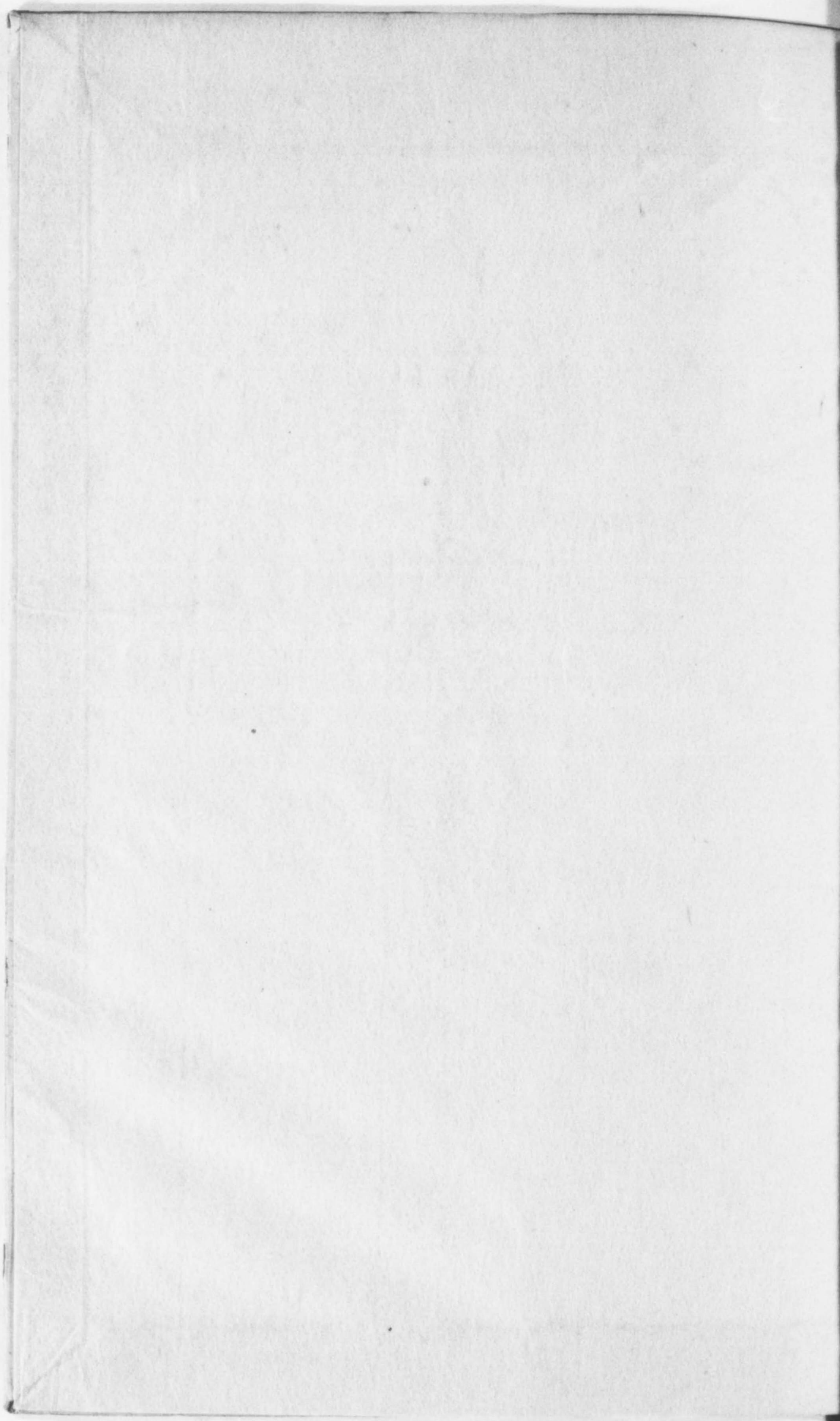
ニ法律裁判所ト海上裁判所トヲ兼任スルヲ以テ
 觀レハ詐偽ヲルテ瞭然タリ若シ否ラズレテ此
 裁判権ノ国内一般ニ及ハサリシニ於テハ通商
 貿易ノ公道上ニ於ケル航海ニ関スル事務ハ又
 明各國ノ共ニ立法官ノ認可ナリ一般ノ海上律
 トシテ承認スル所ノ公平ナル規則ト正理公道
 トヲ以テ之ヲ管理スルノ理ナリ又ハ若シ地方
 裁判所ニ於テ此種類ノ訴訟ヲ保有セルニ於テ
 ハ國家ノ内外ノ治安ト各州人民ノ權利トハ公
 平無偏ナル国内一般ノ裁廳ノ管理ニ屬サスレ
 テ全ク彼我ノ偏頗アル国内一地方ノ裁判所ノ
 管理ニ屬ス可キヲ以テナリ
 各州共ニ各々其便宜ト意見トヲ以テ訴訟ノ收

復ヲ得セシムル地方ノ法律ト裁判所ト、設ケ
 ルアルトハ是レ海上裁判權ノ其權内ニ屬サ、
 ル所以ノ理由タルノミナラス高ホ其裁判權ノ
 廣大タル所以ノ最モ確實ナル理由ナリトス若
 シ然ルニアラザレハ決シテ国内一般海上律ノ
 適用ヲ一ニシ且各州人民ノ特リ一州ノミノ所
 有ニ屬スルニアラズシテ全ク各州ノ共有ニ屬
 スル各州ノ航海ヲ為シ得可キ河流上ニ於テ共
 ニ同等ノ權利ヲ保有スルヲ得可キモノニアラ
 サルナリ
 是ヲ以テ憲法上外国トノ通商及々内国諸州并
 ニインディア人種トノ貿易等ヲ規定スルノ權柄
 ヲ大政府ニ委任セリ是レ固ヨリ通商貿易ニ関

スル各種ノ條件ヲ奉ケテ委任セルモノニ係ル
 ト虽モ其中諸州ヨリ輸出スル物品ニハ貢税ヲ
 賦課ス可ナラサルト又貿易或ハ收税ノ規則ニ
 於テ甲州ノ港ト乙州ノ港トヲ殊別ス可カラザ
 ルト又甲州ニ赴キ或ハ甲州ヨリ来ル所ノ船ヲ
 シテ強テ乙州ノ港ニ入ラシメ或ハ乙州ノ港ヲ
 離レテ投錨セシメ或ハ乙州ニ於テ賦税ヲ納メ
 シム可カラサルト又總テ貢税輸入税国産税等
 ハ合衆國ヲ奉ケテ之ヲ平準セサル可カラザル
 ト等ノ制限アリ然レテ苟クモ此等ノ制限ヲ除
 クノ外合衆國ノ立法權ハ總テ外国トノ通商及
 ヲ内国諸州并ニインディア人種トノ貿易ノ各種
 ノ條件ニ及フモノトス之レト對立シテ司法權

モ亦以シク其権力ノ廣大ナルモノト云フモ敢
 ラ過言ニアラサル可ク實ニ国家ノ立法ヲ執行
 ス可キ至当ノ司法権アラサルハ諸州聯合ノ
 時ヲ以テ国家ノ一大災害トセシ所ノモノナリ
 我々共和政府ヲ創立セル祖先ノ賢明タリシ
 ヲ徴ス可キモノハ蓋シ通商貿易ヲ規定スルノ
 規則ニ於ケルヨリ最モ著明ナルモノナカル可
 シ然シテ總テ通商貿易上ニ於テハ諸州ノ人民
 ヲ看テ一箇ノ人民ト做シ又賦税ヲ保護シ收納
 シ禁制スルノ制規又ハ其他ノ制限等ハ一モ我
 カ国ニ其設ケアルモノナリ又我々貿易航海ノ
 完全自由平等ハ憲法ヲ以テ之ヲ保護スルモノ
 ナリ若シ夫レ斯ノ如クナラザリシニ於テハ蓋

シ我々合衆国ハ互ニ分離シテ再々聯合前ノ小
 弱為敵ノ教國ト為リシルハ瞭トシテ觀ルカ如
 キモノニシテ若シ諸州ニ於テ各々憲法上其主
 眼ノ一大事件トシテ保護セル諸州平等ノ權利
 ノ因テ以テ之ヲ保全スルヲ得可キ海上航海律
 ト称スル通商貿易ニ関スル法律ノ制規ヲ廢棄
 シ若クハ之レニ抵觸スル所ノ貿易航海ニ関ス
 ル法律ノ制規ヲ制定シテ各州共ニ共有ノ権
 ル諸州ノ河川、湖水、海岸、港江、河流等ニ於テ互ニ
 之ヲ施行スル時ハ是レヨリシテ我々聯合同
 ハ離散シテ我々カ国力ノ減殺ス可キハ蓋シ道理
 ノ最モ見易キモノナリ



詩
海
圖

